昭和44年12月23日第3種郵便物認可昭和47年12月1日発行毎月1回1日発行

日本バドミントン協会

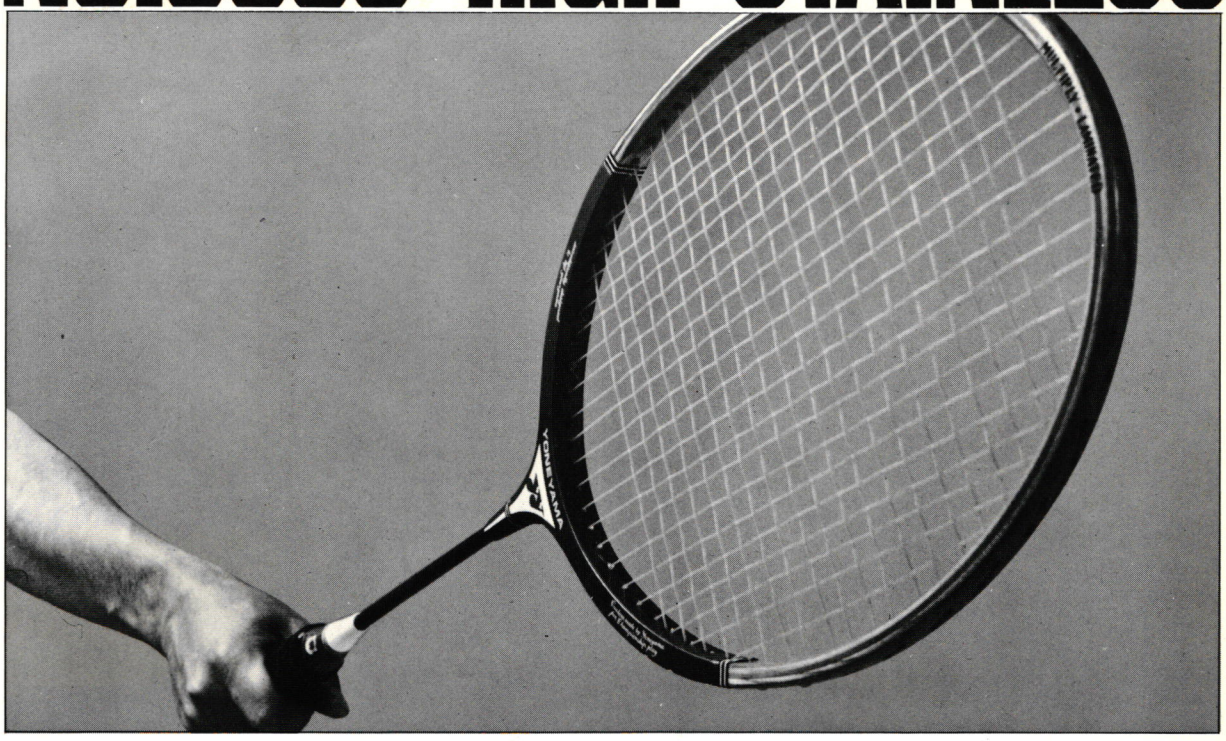
バドミントン界

THE BADMINTON WORLD

39 DECEMBER 1972



No.9000 HIGH STAINLESS



未知のちからを隠しもつ

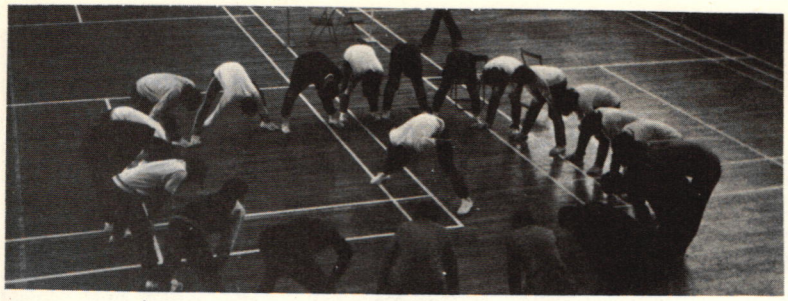
ステンレスのシャフト

しぶとい弾力。まったく鋭い切れ味。瞬間に炸裂する攻撃力。いままでのバドミントンラケットでは、とても出せなかった鮮烈なパワーです。シャフトにステンレスの特性を生かしきってありますから、難度の高いテクニックも思いのまま。これぞ、バドミントンを科学するヨネヤマの、新しい自信作です。その名をハイステンレス。その真価は、世界に点在する一流プレイヤーたちに問いたい。

No.9000ハイステンレス/¥3,800(フレームのみ)

ヨネヤマラケット

今月号のダイジェスト



★大衆スポーツの基盤はどうなっているか　バドミントンも日本スポーツ界の一翼。国内にスポーツを育てる土壌がなければ、バドミントンだって盛んになりにくい。文部省は市民スポーツ振興のため、本腰を入れるかまえだというが、それは逆にいうと、施設も、人も不足している証拠だ。現に、総理府の調べでは、いまだに日本人の4割は一年を通じてスポーツのスの字もやっていない状態だとのこと。

〝体育の日〟を中心に、バドミントンの白い羽根は、かつてないほど全国で乱舞したし、教室等もしだいに盛んになりつつあるが、体育館がない、という訴えも一向にへらない。こうしたいろんな現状に、明暗両サイドからスポットを当ててみた。

★鹿児島国体、東京10年ぶり3度目の総合優勝飾る　〈花は霧島、煙草は国分、燃えてあがるは、おはらはぁ桜島…の南国鹿児島で開かれた秋季国体。閉会式では、折よく名物の桜島が噴煙を吹き上げ、参加者の旅情をなぐさめた。本号では、この景観をふくめた大会のいぶきをグラフでお伝えする。競技は湯木・竹中のユ杯コンビの女子で点をかせいだ東京が十年ぶりに総合と女子の両部門に優勝。主要記録のほか、種別の得点一覧歴代優勝一覧から雑観、総評まで、網羅してお伝えする。

★遠藤（日大）西尾（日体大）が初優勝　もう一つの競技特集は全日本学生選手権。ハイライトの個人戦シングルスは男子が前回の勝者・谷口（立大）を破り、スピードのある遠藤（日大）が、女子は一年生の西尾（日体大）が、ともに初優勝。女子の一年生でのタイトルは近年も高木（現中山）高橋（現味蓼）湯木などがあるが、いずれも日本有数の名選手となっている。さて、西尾の前途は…。学連諸兄による評のほか、いぜん東が強く西が弱い学生界勢力分布図の核心を伊藤競技力向上委員長に解剖してもらった。

ほかにも好論評があったが、スペースの関係で、残念ながら、次号へ。

円陣をつくって〝フレー、フレー×××〟どなたにも覚えのあるシーンだ。インカレのひとこま、どこの大学だろう

★そのほか、72年を締めくくる意味で〝バドミントン界10大ニュース〟をつくってみた。ご愛読いただいた〝ラブ・オール・プレイ〟は今月で完結。初心者向けのつもりで連載してきたストローク入門編も一応終わり新年からは、形を改めて再登場させる。

バドミントン界　〈47年12月号〉

【特集】太陽国体・鹿児島国体
・東京10年ぶり3度目の総合優勝……2
〈主要成績、こぼれ話〉
・歴代優勝、大会種別得点一覧……5
・総評「実力接近で水準向上」……6
・燃えてあがるは――写真グラフ……17
【特集】全日本学生選手権
・遠藤、西尾が初優勝。団体は法大、日体大……10
〈主要成績、団体・個人決勝評〉
・〝東高西低〟の原因をさぐる……14
・東西対抗は東軍が17連勝……15
【特集】大衆スポーツ活動の基盤と現状
・現代っ子は遊びの失業者
――大阪府教育委員会のアンケート調査から……26
・ワイド版「北から南から」
――各地に体育館建設の槌音……28
・10人に4人はスポーツに無縁
――総理府のアンケート調査から……32
・バドミントン72年10大ニュース……33
×――×――×――×
〈女子、国際舞台で次々に王座〉……8
◇小島ら国体代表が神奈川県スポーツ賞……7
◇よく使われるバドミントン用語（完）……34
◇大会運営規定100問集③……35
◇百万人のバドミントン上達法……36
〈バック・アンダーハンドの要点〉
◇レコード――全日本教員選手権ほか……38
・今月号のダイジェスト……40
・次号予告……40
・今月の言葉……40
・編集室……40

スタッフ／表紙撮影・松井亮麿／同製作・小浜正道／グラフ写真・山田真市／その他の写真・山田真市、全日本学連／イラスト・秦　浩／編集・明本　薫／庶務・本島道子／協力・日本協会事務局、各加盟団体、愛読者



第27回国体バドミントン競技（鹿児島市）

第27回国体（国民体育大会）のバドミントン競技は、五種別の総合で東京、女子二種別の女子総合で東京、大阪が優勝を飾った。

大会は十月二十三日から二十六日まで、鹿児島市の県立鹿児島南高体育館を会場にして行なわれた。総合（天皇杯得点）優勝争いでは、一般男子で準優勝、一般女子首位の東京が、計17点をあげ、男子に強い石川県を押えて優勝した。三十七年の第17回大会以来十年ぶり、三度目のことになる。

また女子総合（皇后杯得点）では、一般女子を制した東京と高校女子で断然たる強味を発揮した大阪が各10点で、優勝の座を分け合った。

閉会式で、男女総合優勝の東京には晴れの大会会長（石井光次郎日本体協会長）トロフィが贈られた。

神奈川2連勝八度目（男子）

一般　女子は東京が初優勝

一般男子は神奈川が2連勝八度目の優勝をとげ、一般女子は東京の初優勝となった。

一般男子は小島（神奈川）栂野尾（東京）秋山（山梨）本間（愛知）と、いわば全日本のベスト4が分散、この選手を持つ四都県が、そのまま準決勝に残った。戦力としては紙一重、どこに王座がころがり込んでもおかしくなかったが、やはり明暗は、第一シングルスの選手の力で分かれたようだ。

女子は顔ぶれからいって東京が勝つのが半ば当然。番狂わせといえるのは、柴山、高崎の故障で兵庫が敗退したことだ。元気なら、湯木、竹中、石崎と並ぶ東京と好勝負になったろう。愛知と香川が、運もあったがここまで健闘したのはほめられる。

◇…一般男子…◇

▽準決勝

神奈川　2－0　愛知

○小島　15－5
　宮川　15－18　本間
　15－5　1　樋口

○渡辺　15－2
　15－5　0　牛島

東京　2－1　山梨

池田　15－7
○栂野尾　15－12　2　窪田
　0　秋山

鹿児島国体

東京、10年ぶり3度目

総合優勝　女子も大阪と星分ける

鈴木1 0-15 5-15 15-0 2秋山○
○梅野尾2 15-5 15-10 12-15 1岩下

▽三位決定
山梨2-1愛知
窪田0 7-15 11-15 2本間○
秋山 ○岩下2 15-1 15-3 0牛島

○秋山2 15-5 17-15 0本間
神奈川2-0東京
▽決勝
○小島2 15-2 9-15 15-11 1池田
宮川 ○梅野尾2 15-2 15-1 梅野尾

○小島2 15-5 15-10 0鈴木
◇…一般女子…◇
▽準決勝
愛知2-1兵庫
○橋本2 15-3 15-10 0柴山
池田 ○高崎2 0-11 7-11 0高崎○
富井

○橋本2 11-5 11-7 0福永
東京2-0香川
○湯木2 15-5 15-8 0小片
竹中 ○森2 11-8 11-3 0森

○石崎2 11-0 11-4 0富井
▽三位決定
香川2-0兵庫
小片 ○森2 15-12 9-15 15-12 1柴山
○森 高崎

○小片2 11-5 11-2 0福永
▽決勝
東京2-0愛知
湯木 ○竹中2 15-5 15-8 0池田
○石崎 橋本

和歌山念願の初優勝かちとる

教員は、ブロック代表を逸して姿を見せなかった岩手を除くと、ほぼ順当な顔ぶれが上位に進んだ。

この中では、前年、地元での国体で二位に甘んじた和歌山が門間の登場を得てがんばり、初優勝を飾ったのが注目される。また、栃木でも新鋭・森田が活躍するなど、どうやら教員の部も若手でなくては勝つことがむずかしい時代になったようだ。前年優勝の滋賀は不出場。

◇…教員男子…◇
▽準決勝
和歌山2-0石川
○中西2 15-11 15-7 0北方
門間 長谷川

○森2 15-9 15-4 0原
栃木2-0熊本
別井 ○森田2 15-12 15-10 0本郷
○森田 工藤

▽三位決定
石川2-1熊本

これでビールが飲める

○…遠藤監督（日本鋼管）のもと一般男子で神奈川は小島、宮川、渡辺と、前年と同じメンバーで国体2連勝をとげた。

決勝は卜杯代表の梅野尾・池田ら一線級で固めた東京が相手、かなり苦しいと予想されたがエース小島が気力で劣勢をハネ返した。「ウチの体力勝ちですよ。第1ゲームをとって長びかせれば、第2ゲームを失っても勝てる自信がありました。思った通り第3ゲームの東京はあがって来るタマに力がなかったです。宮川がよくスマッシュを決めてくれました」。小島選手の口ぶりは国際的プレーヤーの貫録十分。

「ああ、これでやっとビールを思い切り飲めますよ」と宮川選手は控え室の畳に寝ころんで大きく身体を伸ばした。

「家が酒屋なので酒は好きです。試合から解放されると、小島さんとウイスキーを一本あけることもあるんですがネ。鹿児島に来てから、みんなでビールはコップ一杯だけに押えていたんです」

遠藤監督は2連覇の念願をはたしてほっとした表情。

「決勝の相手が東京だとわかって、小島にダブルスとシングルスを連チャンでやれといったんです。昨年の優勝チームとして、受けて立つ意味で、エースを出すべきだと思いました」。

（神奈川新聞）

旧姓で通したミセス

○…また一人、ミセス選手が登場。富山県一般女子の芳田三輪子選手（東洋紡庄川）はこの十月十日に結婚したホヤホヤのミセス。このため、選手登録も旧姓の谷沢で通した。おとうちゃん、ごめんね。

（北日本新聞）

大阪は4連勝五度目

高校　男子は奈良が二度目

高校はインターハイの再現となり、男子は正強勢の奈良、女子は四条畷学の大阪が順当に優勝した。しかし内容的にはいくつかの異変があった。男子ではインターハイNO1ペアの中井・南田が決勝で原・山下（金沢市工）にやられ、女子の秋本・徳田組も準決勝の対千葉戦で星を落した。このほか男子は北海道、女子は千葉、富山勢の意外な善戦が目立った。

◇…高校男子…◇

▽準決勝

石川 2－0 岐阜

○原	2	15－15	15－11	0	古西	○北方	2	15－15	11－15	1	本郷
○山下	2	15－7	15－11	0	角田	長谷川	2	15－4	15－6	1	工藤

奈良 2－0 北海道

○原	2	15－1	15－6	0	後藤	原	0	1－15	1－15	2	工藤○
奈良	2	15－6	15－0	0	南	○長谷川	2	15－6	15－0	0	南

▽三位決定

岐阜 2－0 北海道

○後藤	2	15－4	15－10	10－15	1	望月	○古西	2	15－10	15－6	0	望月
							○角田	2	15－10	15－6	0	荒木

◇…高校女子…◇

▽準決勝

大阪 2－1 千葉

○秋本	2	11－1	11－6	0	平野	秋本	0	8－15	5－15	2	山田○
○徳田	2	11－4	11－4	0	山田	徳田	2	11－4	11－4	0	山田

▽決勝

奈良 2－1 石川

○中井	2	15－5	15－5	0	谷島	中井	1	8－15	16－17	18－15	2	原○
○辻	2	15－13	15－3	0	原	南田						山下

▽決勝

和歌山 2－0 栃木

○森	2	15－0	15－8	14－18	1	森田	○中西	2	15－12	15－3	0	別井
							○門間					森田

▽三位決定

千葉 2－1 富山

○矢口	2	11－6	11－8	0	布上	今	2	15－5	15－4	0	山本
○平野	2	15－12	15－8	0	布上	田						布上

山形 2－0 富山

○山田	2	11－4	11－6	0	布上	瀬野	0	7－11	5－11	2	山本○
○徳田	2	11－5	10－2	12－10	1	今田	○秋本	2	15－6	15－9	1	今田

▽決勝

大阪 2－0 山形

○秋本	2	15－6	15－9	7－15	1	今田	矢口
○徳田	2	15－6	15－9	1	今田		

歴代総合優勝一覧

回	年	開催県	優勝県
⑤	25年	（愛　知）	神奈川
⑥	26年	（広　島）	愛知
⑦	27年	（宮　城）	神奈川
⑧	28年	（香　川）	神奈川
⑨	29年	（北海道）	愛知
⑩	30年	（神奈川）	神奈川
⑪	31年	（兵　庫）	岡山
⑫	32年	（静　岡）	神奈川
⑬	33年	（富　山）	東京
⑭	34年	（東　京）	神奈川
⑮	35年	（熊　本）	富山
⑯	36年	（秋　田）	秋田
⑰	37年	（岡　山）	東京
			富山
⑱	38年	（山　口）	新潟
⑲	39年	（新　潟）	新潟
⑳	40年	（岐　阜）	岐阜
㉑	41年	（大　分）	新潟
㉒	42年	（埼　玉）	香川
㉓	43年	（福　井）	岐阜
㉔	44年	（長　崎）	新潟
㉕	45年	（岩　手）	岩手
㉖	46年	（和歌山）	新潟
㉗	47年	（鹿児島）	京都

（注）バドミントンの国体参加は第5回から。
但し第4回にはオープン競技で行なわれた。

みやげは百円紙幣

○…〝国体みやげ〟はお金だってさぁ。ナヌ、でも本当の話です。某商店が陸上競技場内の売店で「つり銭は百円紙幣でさしあげます」と、貼り紙したところ、押すな押すなの盛況。というのも、百円がお札で出回っているのは九州の一部と北海道だけ。それも来年夏には姿を消し、全部、百円玉に切り替わることになっていて、いわば〝稀少価値〟が目をつけられたものらしい。

なかには品物は買わず、両替だけたのむ〝心臓組〟も少くないとか。こういう人、試合でも、さぞ強いんだろうね。

（南日本新聞）

けっこうなお点前で

○…バドミントン会場の県立南高では選手たちに同校茶道部員十人がお茶をたてて接待、好評を呼んだ。〝太陽国体〟に少しでも役立てば、との善意から自主的に行なっているもので、毎日午後一時から。

試合前に心が落ちつける、と選手たちに喜ばれているが、二十四日には、日本バドミントン界の女王・湯木博江選手（東京）も姿を見せ、接待を受けた。

「国体出場も初めてなら、試合前のお茶も初めて。お茶がこんなにおいしいとは知らなかった」と、鹿児島オゴジョの人情にすっかり感激していた。

（鹿児島新報）

《国体バドミントンと採点法》

国体バドミントン競技には一般男子、一般女子、教員男子、高校男子、高校女子と五つの種別がある。

このうち47都道府県が無条件で参加できるのは一般男子だけ。残る4種目は全国を9ブロックに分けて、その代表1チームと開催県の計10チームだけ（ただし今回は復帰の沖縄が一般女子に特別参加して11チーム）。

トーナメントで各種別ごと1位10点、2位7点、3位6点、4位5点、5－8位は各2・5点を与える。この得点を全種別、県ごとに合計し、さらに順位をつける。ここで1－8位に与えられる順位点も前記に同じ。また女子二種目合計だけで別に順位をつける。しかし天皇杯、皇后杯は年二回の国体の全競技通算で決まるもので、バドミントンだけで総合優勝しても天皇杯はもらえない。

鹿児島国体種目得点と順位一覧表

府県名	総合	一男	一女	教男	高男	高女	女子総合
北海道	③ 12.5	－	2.5	2.5	5.0	2.5	⑧ 5.0
青森	2.5	－	－	－	2.5	－	－
山形	9.5	－	－	2.5	－	7.0	⑤ 7.0
栃木	7.0	－	－	7.0	－	－	－
群馬	2.5	－	－	－	2.5	－	－
埼玉	2.5	2.5	－	－	－	－	－
千葉	6.0	－	－	－	－	6.0	⑦ 6.0
東京	① 17.0	7.0	10.0	－	－	－	① 10.0
神奈川	⑥ 10.0	10.0	－	－	－	－	－
山梨	6.0	6.0	－	－	－	－	－
富山	7.5	－	2.5	－	－	5.0	④ 7.5
石川	② 15.5	2.5	－	6.0	7.0	－	－
愛知	④ 12.0	5.0	7.0	－	－	－	⑤ 7.0
三重	2.5	－	－	2.5	－	－	－
岐阜	8.5	2.5	－	－	6.0	－	－
大阪	⑥ 10.0	－	－	－	－	10.0	① 10.0
兵庫	5.0	－	5.0	－	－	－	⑧ 5.0
奈良	⑥ 10.0	－	－	－	10.0	－	－
和歌山	⑥ 10.0	－	－	10.0	－	－	－
岡山	5.0	－	2.5	－	－	2.5	⑧ 5.0
香川	⑤ 11.0	－	6.0	－	2.5	2.5	③ 8.5
長崎	2.5	－	2.5	－	－	－	2.5
熊本	5.0	－	－	5.0	－	－	－
鹿児島	⑥ 10.0	2.5	－	2.5	2.5	2.5	2.5

水鳥 検定合格球

ファストゴールド

ファストシルバー



ファスト印シャトルコック 製造発売元

有限会社 ジャワ商会

山形市六日町7の28
電話 0263（22）3994（代表）

実力接近化、水準かなり向上

〈総　評〉 基本重視の県、着実に進出

大会副審判長（日本協会競技力向上委員長）
伊藤基記

相馬競技委員長、内藤審判長、市島、毛利常務理事その他、本部席に連日つめて観戦をいただいた方々のご意見を拝聴すると判を押したように共通しているので、おこがましいと百も承知の上で「バドミントン界」寄稿の責を果させていただくことにした。お名を拝借した諸氏に、紙上からお礼を申しあげる。

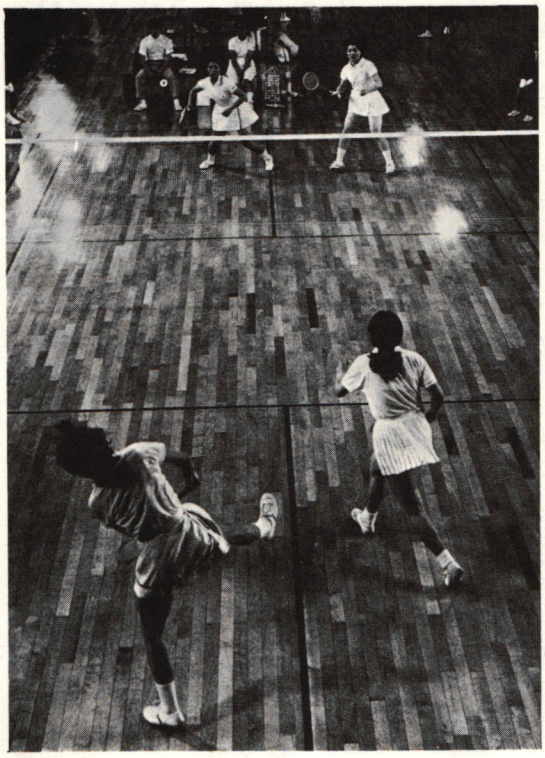
近年、各県の力が伸びて、ト杯やユ杯の選手を持つ、いわゆるエリート県でも、決して楽勝を許されない。東京がわずか17点（46年の新潟は27・5、45年岩手21点、44年新潟22・5）で天皇杯を握った事実が、これを象徴している。

○運営法再考の時代に

一県独走を許さぬ激しいつぶし合いが各地区で行なわれ、その基盤において弱少県がしだいに減り、全般的に水準がいちぢるしく向上しつつあることを感じてうれしい。

だが、この実力伯仲化のため試合時間がのび、第一日、第二日は、どうかすると午後九時近くまでかかる。将来は十時を越すとも予想される。コート数を八面に増すこと、同時に、全試合、勝敗決定後のゲームは行なわないようにすることを、多少の抵抗はあっても、敢行すべき時代が訪れている。

地元観衆の観戦態度も立派であれば、選手のコートマナーもよくなることは理の当然。審判も線審も誠に好評、これも含めて会全般の運営は一糸乱れず順調そのものであった。



一般女子決勝，東京×愛知の熱戦

○地元は満点、ベンチは？

ただ、それに比べ、監督の態度にはひんしゅくに値するものが散見された。大声をあげて手をたたき、イニングごとに躍り上り、椅子にふんぞり返り、憶面もなくサイドコーチを連発するなど、それも強いところで、知名の士？であるところから全く憂うつな眺めであった。

○光る宮川、一般男子の健斗

決勝で敗れた一般男子東京の池田・栂野尾組が、神奈川の宮川・小島組のパワーに押しまくられているのを見て、ト杯に勝てなかった原因が浮き彫りされているように感じた。競技力向上委として考えさせられることであった。それにしても宮川君の健闘は大いに認めてよい。

○高校優勝校なぜ苦戦

インターハイに圧勝した大阪の高校女子が、準決で千葉にダブルスをもぎ取られ、決勝でも山形にいじめられ、第2単でフルゲームのすえ、やっと勝利をものにした。高校男子でも夏の覇者・奈良が、ダブルスで案外のつまづきを見せ、決勝でも石川に黒星。中井、辻のシングルス辛勝でやっと栄冠を握った。

夏の優勢を秋まで持ち越すことのむづかしさを感ずるとともに、四県の努力を改めて認識したしだいである。

○教員も若手時代へ

教員男子は門間を入れて一層の強化に成功した和歌山が、森田の活躍で浮上した栃木を振り切った。この種目も、旧勢力のままのところではどうにもならず、新人獲得に成功した県がこれから星を握るだろう。

○反省の要、柴山らの故障

一般女子は、実業団優勝の兵庫が、どういう事情があったかは不明だが、疲れ切った故障だらけの体調で4位に止った。その中の二人がナショナル・チームの一員であるだけに、考えさせられた。選手の体調をこわし技術を停滞させることの重大さを反省してほしい。

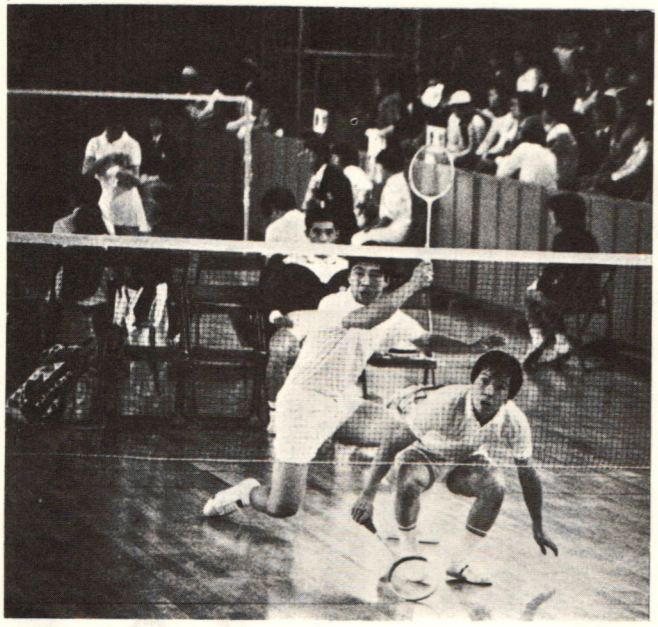
なお、ここで名前をあげることは差し控えるが、将来、ト杯ユ杯に進出して、その栄光を担えそうなホープ、未完の逸材を何人か見つけた気がする。

全般的に見て「カミソリで大木は切れない」という原理が生きていた。枝の末に走らず、基本的技術を正確に身につけ、つけようとしている県が順調に勝ち進んでいることを見逃してはならない。

国体代表に神奈川県スポーツ賞

小島、渡辺、宮川トリオ

一般男子で輝く二連勝の功績



第21回神奈川スポーツ賞（神奈川県、神奈川新聞社共催）に国体バドミントン一般男子で二年連続優勝した小島（ヨネヤマラケット）渡辺（横浜市住宅公社）宮川（カワサキラケット）の三選手が選ばれ、十一月三日、文化の日に、県音楽堂で表彰された。

なお、同スポーツ賞の47年度受賞者は、ほかにバレーの森田、大古、島岡（日本鋼管）佐藤哲（富士フィルム）のミュンヘン代表、県湘南高通信制軟式野球部、弓道一般男子で国体二連勝の県チーム（橋本、佐藤、杉の三氏）を合わせ十氏一団体。

小島選手はさきに44年度の同スポーツ賞にも輝いている。

▽**小島一平**＝28歳、中大出、ヨネヤマラケット、横浜市在住

▽**渡辺直人**＝27歳、関東学院大出、横浜市住宅供給公社、横浜市在住

▽**宮川秀樹**＝24歳、関東学院大出、河崎ラケット工業、横浜市在住

…若手の刺激剤に…

小島選手の話　国体二連勝はスコアだけを見れば楽勝でしたが、日本のトップクラスを破ることができたのは、非常にチームワークがよかったからです。三人にとって、昨年の優勝が自信になっていたと思います。私たちの受賞が県内の若手プレーヤーに良い刺激を与え、中、高校生ががんばってくれれば、この上ない幸せです。

国体最中も山道トレーニング

三人三様に持ち味発揮

去年の和歌山国体は一試合も落とさない完全優勝。ことしは準々決勝の対石川で、渡辺がシングルスを取られただけ。日本の第一人者、小島を中心に若手の宮川、ベテラン渡辺の三人がそれぞれの持ち味を発揮した。

小島は全日本総合で41年から5連勝、全英選手権はじめ数々の国際試合を経験、ことしもトマス杯アジア東地区予選に出場健在ぶりを示した。160センチ、58キロの小柄な体を十分に使って、スピードのある攻撃を展開。単複ともにうまいオールラウンド・プレーヤーだ。

俊敏な動きは柔軟な体の賜のだろうが、彼の努力には、遠藤監督（国体チーム監督＝日本鋼管）も舌を巻く。

鹿児島国体中は毎朝、宮川、渡辺を引っぱって山道を走った。自宅のフスマには〝打倒ハルトノ〟の文字が大きく書かれている。ハルトノ（インドネシア）は彼が打倒をめざし、まだ果せないでいる世界ナンバーワン・プレーヤーだ。

小島とダブルスを組んだ宮川は昨年の国体に比べ、大きく成長した。和歌山で優勝した時は無我夢中だったというが、実業団選手権個人3位、社会人選手権ダブルス優勝と、メキメキ頭角を現わした。

鹿児島国体決勝の対東京戦では、長身から打ちおろすスマッシュがよく決まり、小島を助けた。ただ「時期的には、現在、一本立ちのカベにぶつかっている」と遠藤監督はいう。しかし二連覇の自信はこれからの試合に大きく現われて来るだろう。

渡辺は神奈川チームには欠かせない貴重なシングルス・プレーヤー。エース小島のスタミナを温存するため、第1シングルスに起用され、つなぎの役割を十分に果たした。

一見、力に欠ける感じだが、強いリストをきかした粘りのプレーには定評がある。また小島と宮川の中間にあって、マネジャー的役割りをこなした陰の功労も書き落とせない。

（神奈川新聞から）

▲国体決勝でがんばる小島（前）宮川のダブルス

72年バドミントン界10大ニュース

驚異的、中山夫人の大活躍

女子は国際舞台で次々に王座とる

この一年、日本のバドミントン競技界は、国際試合で、大いに名を高めた。

国際シーズン・スタートの全デンマーク・オープンで女子の中山・湯木組が優勝したあと、非公式の世界選手権といわれる全英選手権では、シングルスに中山、ダブルスに相沢・竹中組が王座を占めて女子〝二冠〟。

ついで、国内に迎え撃ったユーバー杯女子世界選手権では、デンマーク、インドネシアを連破して優勝、第一回―第三回の米国とならび、ユ杯史上のタイ記録（3連勝）をマークした。

九月には、ミュンヘン五輪で史上初めて、バドミントンがデモンストレーション（公開競技）として登場。日本代表の一人、中山はここでも〝女王の座〟を占めた。この一年で、中山が出場した大会で、タイトルをとれなかったのはデンマーク・オープン（単決勝でスウェーデンのツェドベリに惜敗）だけ。

結婚してなお、この力と精進ぶりには、文句なく頭を下げなければいけない。しかし、この中山も、年末にいたって、おめでたとかで、全日本総合を棄権した。惜しいことである。

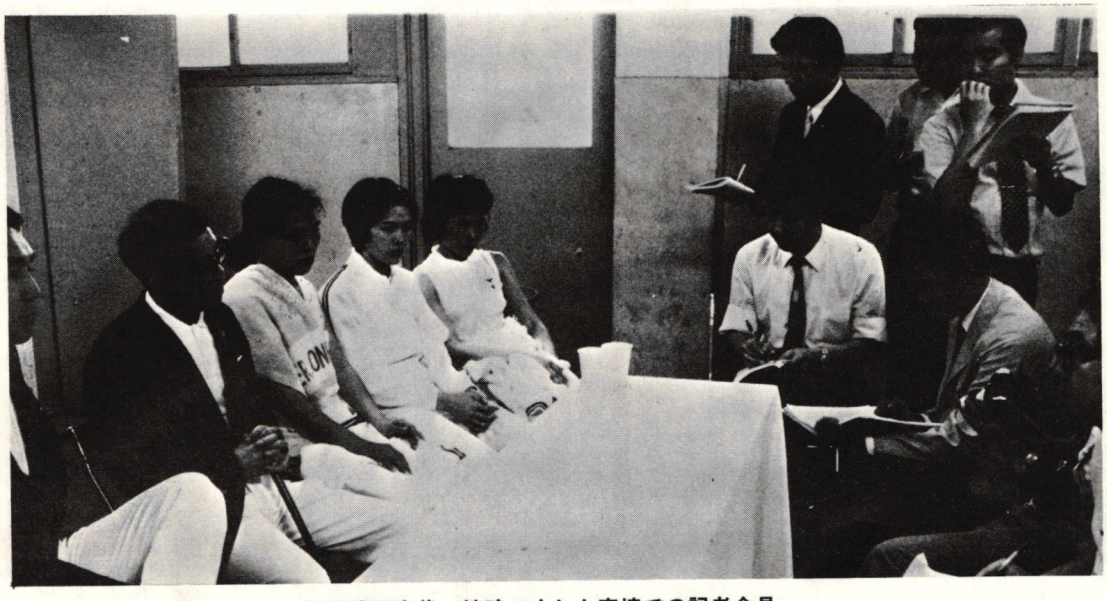
ユ杯後、カットの第一人者だった高坂（青学→佐渡汽船）が引退。相沢、竹中、柴山、高崎らが、次々に故障で倒れ、それまでのハード・スケジュール反省の材料を提供した。が、一方では、次代をめざすホープも続続と育ちつつあり、日本が今後も王座を堅持できるかどうかはただ一つ、日本協会の施策のいかんにかかっている。

ユ杯の輝く3連勝をはじめ、72年は明るい話題が相次いだ。多彩だったこの一年のスポーツ界の動きの中で、バドミントン競技の〝世界〟は、まだ小さな部分だったかもしれない。しかし、それなりに力をつけ、国際

男子なお努力の要、苦しい前途

一方、第一線級男子は、一喜一憂の年だった。ナショナル・チームのもと、心血を注いだトマス杯対マレーシア戦で惜敗。その他いくつかの国際試合でも、東南アジア勢などのカベが依然厚く、よほどの強化体制と選手個個の決意がなければ、道は苦しいことを思わせた。

国際関係では、日中の交流問題が一つの焦点だった。これも中国側の呼びかけ、日本協会首脳の態度決定により、ほぼ交流の見通しがつき、実現は時間の



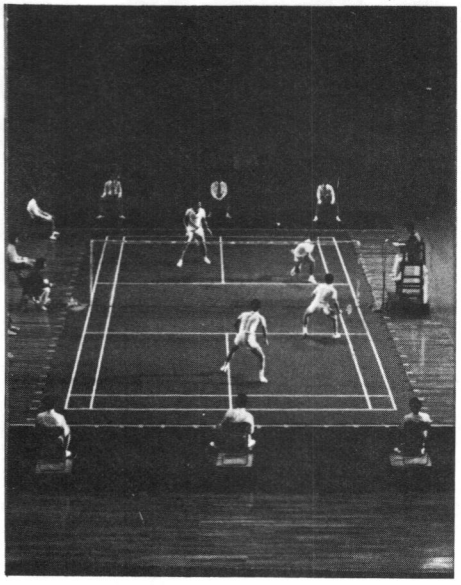
ユ杯3連勝直後，精魂つくした表情での記者会見。

舞台でも、他の競技以上の活躍を示した。マスコミ界で取り上げられることも、しだいに多くなり、人々がバドミントンに注目するようになった。もうひとふんばり――一年を振り返り来るべき年の布石としたい。

バドミントン界10大ニュース

①日本女子，ユ杯で史上タイの３連勝（６月）
②全英選手権で日本女子，単複制す（３月）
③ミュンヘン五輪で史上初の公開競技，中山ここでも優勝（９月）
④日本男子，ト杯でマレーシアに惜敗（10月）
⑤第１回国際女子大会の開催（１月～２月）
⑥日本男子，ネパールで中国と対戦（10月）
⑦西尾，１年生で全日本学生に優勝（11月）
⑧中井，秋本妹が全国高校で三冠王（８月）
⑨日中交流，ついに実現へ（10月）
⑩アマ規定の制定，施行（１月）

★指導者公認制度の制定（７月）
★男子ナショナル・チーム発足（１月）
★全日本総合，小島不屈のカムバック（12月）
★社会人選手権，秋山２連勝（５月）
★鹿児島国体，東京が総合で男女とも優勝（10月）
★競技規則（サービス）一部改正（７月）
★後藤愛知県会長(ピンポン外交生みの親)急逝（１月）
★第２回国際女子競技会も決定



ト杯・対マレーシアの熱戦

問題となった。正式実現に先立ち、ネパールで開かれた国際競技会では、参加した日中両国代表が対戦した。これは男子だけだったが、中国の強さがクローズアップされ、日本は今後、さらに心をひき締める必要を痛感させられた。

この中国問題は、一時、カナダなどがＩＢＦ（国際バドミントン連盟）内部で運動、中国のＩＢＦ加盟を呼びかける等の噂もあったが、現在までのところＩＢＦとしては、なんらの態度を表明するに至っていない。

久しぶりヒット、国際女子の開催

国内問題としては、日本協会が、まず女子から国際競技会の開催に踏み切ったことが挙げられる。ト杯、ユ杯以外の国内での国際試合は、この数年ほとんどなかったが、理由は協会の腰が重く「それだけの力がない」とみずから思いこんでしまっていたことだった。手始めは対デンマーク戦、年が明ければ第二回は欧州女子との対戦。今後のがんばりを祈ろう。

学生界では二つのニュースがあった。全国高校で男子の中井（正強）女子の秋本（四条畷学園）が団体、個人単複を制してともに〝三冠王〟に輝いたことと、全日本学生で一年生の西尾（日体大）が単の優勝を飾ったことだ。この時の決勝の相手は同窓の秋本。高校三冠王・秋本の姉であり、もう一人、下の妹を加えての秋本姉妹は、新しい年の一つの〝目〟となろう。

協会施策としては、地味ながらアマ規定が、細則を含めて制定施行されたこと、指導者を認定して資格を与え、全国に広がる普及活動に、一つの支えをつくったことに注目したい。ナショナル・チーム制度はト杯前に男子で採用されたが、女子をふくめ、今後のあり方に検討が加えられようとしている。

さらに、小さな活動だが教職員連盟が〝正しいバドミントンの普及〟のため、編集しているパンフレットの第二弾として、大会運営規定１００問集が刊行された。敬意を表したい。

ただ、全般的には一年を振り返り、日本協会の力不足はなんとしても否定できない。時代を先取りし、積極的な政策を次々に実行すること、これだけが競争の激しいスポーツ界でバドミントンを国民のものにする道。七三年を期待しよう。

遠藤（日大）西尾（日体）が初の栄冠

団体戦　男子・日大初優勝、女子・日体6年ぶり

複は草島組（法大）と池田組（日女）がナンバーワンに



第23回全日本学生選手権大会は、十一月一日から六日まで、愛媛県松山市の帝人松山体育館、愛媛大体育館、松山北高体育館の三会場で開かれた。

全種目を通じて関東勢が圧倒的に強かった。男子団体（26校参加）は日大と法大が決勝を争い、エース遠藤好を中心によくまとまった日大が初優勝に輝いた。同女子（13校）は若手の充実いちじるしい日体大が、日女体大をしりぞけて、6年ぶり3度目の栄冠を手にした。

個人戦もすべて関東勢が制するところとなった。男子シングルスは前年同様、谷口（立大）と遠藤の決戦となり、今度は遠藤がフルゲームのすえ勝って雪辱、初優勝を飾った。同ダブルスは名コンビの草島・田所（法大）組が二上・本間組（早大）を押えて二連勝した。

女子は若手ががんばり、シングルスはベスト4のうち三人までが一年生。結局、アジア大会代表の西尾（日体大）が高校時代からの同級生秋本をしりぞけ初優勝。同ダブルスはパワーのあるペア同士がトップをせり合い、堀川・谷（日体大）組が池田・塩崎（日女体大）組を破って、やはり初優勝した。

東北学院健闘、ベスト8へ

関西勢は早々と姿消す

男子団体戦はベスト8に関西勢が一校も残らぬ結果となった。しかし、地方勢では、前年も健闘した東北学院大が今回もよくがんばり、ただ一校、準々決勝に進んだ。準々では法大にストレート負けしたが、第二ダブルス、第一シングルスでそれぞれフルゲームの戦いを演じたのはほめられる。シード校の中大は準々決勝で、相川・銭谷の第一ダブルスを落したのがたたり、日体大に苦杯を喫した。

◇…団体戦男子…◇

▽1回戦

大東文化大	棄権	京都産業大	
立教大	3―0	竜谷大	
東北学院大	3―2	熊本商科大	
日本体育大	3―0	金沢大	
松山商科大	3―2	北海学園大	
慶応義塾大	棄権	同志社大	
関西学院大	3―1	岡山大	
関東学院大	3―1	近畿大	



名古屋商大 3－1 北星学園大
福岡大 3－1 明治大
日本大 3－0 慶応義塾大
青山学院大 3－1 関西学院大
関東学院大 3－0 名古屋商大

日本体育大 3－0 関西大
中央大 3－0 松山商科大
▽2回戦
法政大 3－0 大東文化大
東北学院大 3－2 立教大

早稲田大 3－0 福岡大
▽準々決勝
法政大 3－0 東北学院大
日本体育大 3－2 中央大

○草島 15－6 安斎
○田所 15－10 岩淵
浜谷 12－15 菅
○森田 15－11 高橋

○草島 15－6 岩淵
15－5 10－15
今井 15－2 相川
○桐生 7－15 銭谷
17－14

上田 15－9 浅見
13－18 ○
志子田 15－17 尾崎

○佐藤 15－12 相川
今井 6－15 銭谷○
4－15

○桐生 15－12 丸山
12－15
15－10

日本大 3－0 青山学院大
○遠藤 15－4 大和田
○飯野 15－7 堂下

○遠藤 15－2 大和田
15－5

○舟山 10－15 田口
○土田 15－10 小玉
18－13

早稲田大 3－0 関東学院大
二上 15－11 高橋
○本間 18－15 三野
○折井 18－17 城所
○松口 17－15 永吉

○土江田 15－2
15－7
17－18 高橋

▽準決勝
法政大 3－1 日本体育大
○草島 15－2 上田
○田所 15－7 志子田
浜谷 8－15 桐生
森田 9－15 ○今井

日本大 3－0 早稲田大
○遠藤好 15－4 二上
○飯野 15－2 本間
舟山 15－7 折井
○上田 15－3 松口

○九原 15－10
15－11
10－15 土江田

▽決勝
日本大 3－1 法政大
舟山 16－17 草島○
土田 10－15 田所

遠藤好 13－18 岡田
○飯野 15－11 斎藤
15－5

○田所 15－9 佐藤
15－6

○岡田 15－7 桐生
15－7

西尾、わっと泣き伏す

日体大、辛くも逃げ切りのゴール

◇…団体戦女子…◇
▽1回戦
昭和女子大 3－1 武庫川女大
親和女子大 3－2 北海道女短
青山学院大 3－0 東海女短大
宮城学院女 3－0 岡山大
北星学園女 3－1 大阪樟蔭女
▽準々決勝
日本女体大 3－0 昭和女子大

○九原 15－2
15－5
15－5 草島

○遠藤好 15－10
15－4 田所

ダブルス第一試合、日大ペアは第1ゲーム後半よく攻めてセッティングに持ち込んだが、第2ゲームでは草島組のペースに乗せられてしまった。第二ダブルスの遠藤組も2ゲーム中ばまではイキが合わず苦しんだ。しかしレシーブを持ちこたえてゲームを奪い、ファイナルは積極的な攻撃で押し切った。

第一シングルスの九原はスマッシュとクリアをよく使い分けて草島をゆさぶり、波に乗った。最後の遠藤は正確さとスピードで田所を上回り、高校（日大山形）の同級生田所を守勢に押し込めた。（関東学連・市原康二）

○石田 15－1 伊藤
吉田 15－2 関谷

○池田 15－3 鎌田
塩崎 15－1 大野

○石田 9－11
11－3
11－7 伊藤

青山学院大 3－0 親和女子大
山崎 15－5 飯田
○宮武 15－6 佐野



6年ぶり女子団体に優勝した日体大チーム

○堀川 11-6-11-11 塩崎
○西尾 11-7-11-11-3 石田

第一ダブルスは、すべり出し互いにサービス・ミスを繰り返すお粗末さだったが、池田組が左右の振りとスピードでリード。堀川組は塩崎に狙いを集中したが攻めが単調すぎて裏目。ペースをとった池田組、そのまま攻め切った。

第二ダブルスは西尾組、インカレ初出場の一年生ペアながら攻め勝ってポイント1-1。しかし、シングルス一番手の陣内は動きが悪く、池田の強打をあびて敗退形勢こんとん。

主将堀川、最後のふんばりを見せ、1オールからファイナルゲームをとって、優勝のゆくえは最終戦へ。この試合も1オールからフルゲームともつれたが西尾のカットが有効打となってペースをとり押し切った。優勝決定の瞬間、西尾その場にくずれて泣き伏す。

（関東学連・中村和衛）



○漆畑 15-2 竹内
○白玖 15-2 岡本
○宮武 11-0 佐野
東京女体大 3-0 宮城学院女
○栗原 15-10 堀江
○名和 15-5 千葉
○柿崎 15-7 伊藤
○野島 15-0 坂本
○名和 11-0 伊藤
日本体育大 3-0 北星学院大
○秋本 15-0 岡本
○西尾 15-0 加藤
○陣内 15-4 平
○山森 15-2 中田
○堀川 11-0 平

▽準決勝

日本女体大 3-0 青山学院大
池田 15-4 山崎
○塩崎 15-9 宮武

○石田 15-3 漆畑
○吉田 15-2 白玖
○塩崎 11-1 山崎
日本体育大 3-1 東京女体大
○堀川 15-2 栗原
○谷 15-7 15 名和
○秋本 15-8 柿崎
○西尾 15-9 15-9 野島
○堀川 11-5 柿崎
陣内 7-11 栗原○

▽決勝

日本体育大 3-2 日本女体大
堀川 4-15 池田○
谷 6-15 塩崎○
○秋本 15-2 石田
西尾 15-11 吉田
陣内 10-13 6-11 池田○

N. B. I. のC. M. BRAND

バドミントンの気品
CMの風格

!! ご存じですか !!

★ 我国でシャトルコック製法を一番先に機械化して水鳥シャトルを普及したのはCMです。
★ N.B.I はバドミントン普及発展のために製造から直売システムです。
★ 現金でお申込になれば卸価格でお求め出来ます。

日本バドミントンインダストリ株式会社
東京都三鷹市井ノ頭4－8－7　TEL 0422（47）3331（代）－3

スピーディ遠藤、谷口のネットつぶす

◇…個人戦男子…◇

◇シングルス

▽5回戦　谷口（立）2－0佐藤利（日体）、丸山（中）2－岡田田（法）、草島（法）2－0相川（中）、二上（早）2－1栗栖（中）、田所（法）2－0城所（関東学）、銭谷（中）2－0舟山（日）、尾崎（中）2－0斎藤（法）、遠藤好（日）2－0本間（早）

▽準々決勝

谷口（立）15－1 15－4 丸山（中）

二上（早）15－13 15－6 草島（法）

銭谷（中）15－6 9－15 15－10 田所（法）

遠藤好（日）15－7 15－17 15－8 尾崎（中）

▽準決勝

谷口 15－10 15－4 二上

遠藤好 18－14 17－16 銭谷

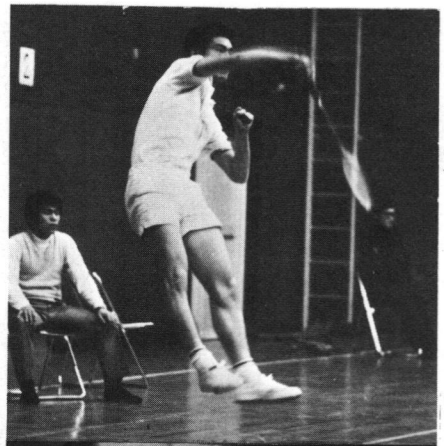
▽決勝

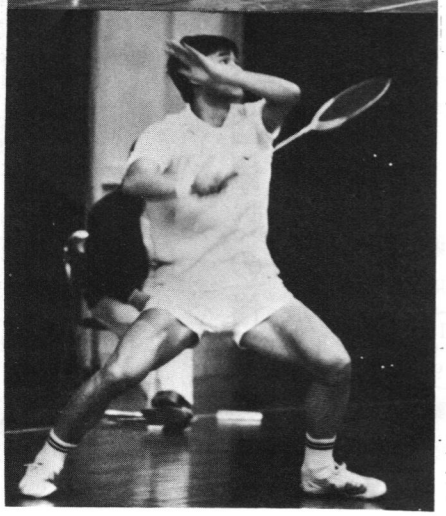
遠藤好 7－15 17－14 15－3 谷口

…決勝評…早い動きから、互いに得意の武器を駆使して、決勝らしいスピーディな展開となった。第二ゲーム中盤までは谷口がペースをとった。谷口は得意のネット戦に局面を持ち込み、遠藤のヘアピン・レシーブが上ってくるところを、スマッシュ、カットでゆさぶり、ゲーム先取。第二ゲームもこのペースで谷口が12－8とリードした。

しかし、ここから両者、強打の打ち合いに入ると、展開が均衡。遠藤が相手のヘアピン・ミスとみずからのスマッシュで11－12と1点差に迫ったあと、谷口強打を決め14－11と逆にマッチポイント。これまでと思われたが、遠藤粘って強打で14－14とセッティングに持ち込んだ。

遠藤さらにスマッシュで2点を加え逆転でゲームをモノにした。マッチポイントから6点連取した遠藤の底力が光った。波に乗った遠藤はスマッシュ、カット、ドリブンクリアで一気に第三ゲーム7－0。谷口は遠藤の早い動きにほんろうされた感じで終わった。（市原康二）





◇ダブルス

▽4回戦　草島・田所（法）2－0古郡・村山（立）、九条・飯野（日）2－1岩田・菅原（近）、相川・銭谷（中）2－0田口・大和田（青学）、下田・米山（法）2－0丸山・山本（中）

浅見・尾崎（中）2－0北村・佐藤利（日体）、二上・本間（早）2－0上野・佐々木（慶）、岡田・斎藤（法）2－0舟山・土田証（日）、今井・桐生（日体）2－0加治屋・工士（熊本商）

▽準々決勝

草島（法）15－11 15－0 九原 田所 飯野

相川（中）15－2 17－16 下田 銭谷 米山

二上（早）8－15 15－13 15－7 浅見 本間 尾崎

今井 15－2 16－18 15－12 岡田 桐生 斎藤

▽準決勝

草島 田所（法）16－18 15－4 15－9 相川 銭谷（中）

二上 本間（早）15－12 10－15 15－6 今井 桐生

▽決勝

草島（法）15－4 15－0 二上 田所（早）本間

…決勝評…実力通り、草島組の方が早くペースをつかんだ。コースの突き方、ストレートの正確さ、うまさの差が出て、第一ゲーム9－1、13－1と圧倒的にリード、そのまま先取する。

第二ゲームも、きめこまかな配球で草島組4－0。ここで二上のスマッシュが決まり4－4となったが、草島組は再度、先手をとって攻め7－4から10－4。早大ペア奮起、10－8からネットをうまく使ってミスを誘発10オールと並んだ。しかし、それもツカの間、ストレートをネットにひっかけたりするミスで万事休した。二上組は法大ペアのこまかいプレーにつき合わされた感じ。（市原康二）

西尾、楽にパートナーしりぞける

◇…個人戦女子…◇

◇シングルス

▽4回戦　陣内（日体）2－0吉田（日女体）、谷（日体）2－0名和（東女体）、塩崎（日女体）2－1佐伯（日体）、西尾（日体）2－0木村（東女体）、池田（日女体）2－0山森（日

▲遠藤（上）と谷口

体）、秋本（日体）2－0柿崎（東女体）、栗原（東女体）2－0古谷（日体）、堀川（日体）2－0北島（日体）

▽準々決勝

谷（日体）11－9 陣内（日体）
西尾（日体）11－0 塩崎（日女体）
秋本（日体）11－5 池田（日女体）
堀川（日体）11－7 栗原（東女体）

▽準決勝

西尾 11－8 谷
11－4
秋本 11－5 堀川
12－10 9－11

▽決勝

西尾 11－4 秋本
11－5

:::決勝評:::一年生のダブルス・ペア同士の争い。今季、関東と東日本の両大会を連覇し、実績にまさる西尾は秋本を寄せつけず、あっという間に9－0。秋本は準決勝で大接戦の疲労のためか動きが重く、ミスが目立ち、後半やっと西尾のミスに乗じ4点をとるのがせいいっぱい。

第二ゲームに入っても西尾の一方的ペース。秋本は10－1の土壇場から、わずかにネットプレーがさえて4点連取したが時すでに遅かった。

（関東学連・白鳥路雄）

堀川組、団体戦の借り返す

弱気がたたった池田組

◇ダブルス

▽3回戦 塩崎・池田（日女体）2－0広沢・北島（日体）、山森・陣内（2－0）飯田・佐野（親和女）、秋本・西尾（日女）2－0樋口・鈴木（日女体）、柿崎・野島（東女体）2－0小野・佐藤（群馬）

石田・吉田（日女体）2－0木村・君山（東女体短）、堀川・谷（日体）2－0山崎・宮武（青学）、佐伯・古谷（日体）2－0富田・石田（金沢）、栗原・名和（東女体）

▽準決勝

塩崎 15－8 山森
池田 13－15 陣内
15－7

秋本 6－15 柿崎
西尾 15－11 野島
15－7

堀川 15－4 石田
谷 15－8 吉田
栗原 15－7 佐伯
名和 15－11 古谷

塩崎 11－15 秋本
池田 15－1 西尾
15－11

堀川 15－9 栗原
谷 15－2 名和

▽決勝

堀川 17－14 塩崎
谷 15－9 池田

:::決勝評:::堀川組は団体戦決勝の雪辱を期して意欲的だったが、池田組は弱気な面がのぞき、押されっぱなしで最後まで調子が出なかった。

第一ゲームせっかく14オールに追いつきながら3点連取を許してダウン。せった割りにはサービス・ミスなどが多く盛り上がらない。第二ゲームまた池田組弱気で0－5。日体ペアは谷が一年生で経験浅いせいかミスが目立つが堀川よくカバー。池田組は押され気味でリターンが浅く、反撃をあびる。14－9から堀川のネットプレーが決まり決着がついた。

（中村和衛）

"一年生"で精神的に楽だった

西尾選手の話　なにしろ無我夢中でした。まだ一年生だから自分の思うように試合にぶつかっていこうと思いました。この一年生だったということで、精神的にも随分、楽だったと思います。上級生になった時、どこまで実力が出せるかが今後の課題。皆様のよきアドバイスを基にこれからも頑張ります。

"東高西低"の原因をさぐる

全日本学生と中・四国・九州学生3地区の対抗を合わせて検討しての感想

競技力向上委員長　伊藤基記

"東高西低"という。学生界はいぜん東側が強力で、西側は不振続きだ。西側にいる高校生の多くが、東の大学に進学するからだ、と考えられている。それは事実だ。しかし、はたしてそれだけか。今季、現場をよく見た伊藤基記氏に、原因を追求してもらった。



(一) 関東はスマッシュ、ドライブに強い。西は東のスピードについてゆけない

高校の強いものが、東に集められたといえばそれまでだが、体格の相違、打法の相違も手伝って、西は東のなぐり込みに、一も二もなく参ってしまう。私は、この打法の相違をここに重視したい。

東はその構えからスイングにかけて、体重の移し、体の捻転について、各選手が忠実であるに比し、西は、体重がどうもストロークに乗らず、いわゆる「拝み打ち」になっていて、腰や肩のひねりが弱い。このことは、高校、大学の指導陣において、特に猛省をうながしておきたい。

従って、西はどうしてもチャンスになぐりこみをかけることができず、やってもフライトが浮いてしまったり、方向が狂ったりして、止めの一発にならない。スマッシュをスマッシュでなぐり返される場面をしばしば見るし、スマッシュ、ドライブで押されるために、他のストロークの効きめが弱められてしま

東軍が楽々と17連勝

学生東西対抗　女子はストレートで

第21回全日本学生東西対抗競技大会は，全日本学生選手権に先立つ10月31日，松山市の帝人松山体育館で開かれた。男子は3複6単の9試合，女子は2複3単の5試合制で争われたが，これも断然，東軍が強かった。男子は西軍が岩田（近大）と大束（福岡大）が2勝しただけ。7－2で東軍が，女子は東軍が5－0で完勝した。総合通算成績は東軍の17連勝，20度目の優勝である。



▲勢ぞろいした西軍男女チーム

◇男　子

東軍7（複3－0／単4－2）2西軍

▽ダブルス

○草島（法大）15－3 森田（大阪大）
○田所 15－12 田村

▽シングルス

○今井（日体大）11－15 岩田（近大）
○桐生 15－13 菅原
○安斎（東北学）15－12 中島（関大）
○岩淵 15－11 山下
○二上（早大）11－15 六津井（同大）
15－11
18－17

◇女　子

東軍5（複2－0／単3－0）0西軍

▽ダブルス

○池田（日女体）15－1 石田
○塩崎 15－3 富田（金沢大）
○堀川（日体大）15－9 飯田
○谷 15－2 佐野（親和女）

▽シングルス

○名和（東女体）12－11 村崎
○西尾（日体大）11－3 樟蔭女）
11－1
○柿崎（東女体）6－11 飯田（親和女）
11－3
11－1

○銭谷（中大）15－5 三宅（関学）
15－9
○丸山（中大）15－3 河野（立命大）
15－9
○遠藤好（日大）15－4 中島（関大）
15－6
上野（慶大）7－15 大東○（福岡大）
15－9
3－15
土井（北星学）4－15 岩田○（近代）
8－15

う。このことを解決しなければ，西は永久に東に追いつけない。

百㍍10秒3と10秒5の差がいつまでも続くことになる。ウイニングに負ければ，それまでのストロークの配り一切が，死んでしまうことになるからだ。

女の色白と同じく，強力な爆発的スマッシュの破壊力は七難かくす。このことをかみしめて欲しい。これが対外的になると日本のこの面における劣勢が，これまたクローズアップされてくるから残念である。

(二) ダブルスにおける前衛の動きにおいて，東に一日の長あり

西は一応，前に衝き込んでもそのあとの追いこみが足りない。すぐに衝き返されて，前衛が相手のフライトを素通りさせてしまうから，いきおい，後衛が振り廻されてしまう。ここにスピードの差がはっきりと出てくる。多少，山をかけてもよいから前衛が前でデセプションに徹することが望まれる。後衛は，この前衛の邪魔をかわすことによって鍛えあげられる。ダブルスの立体的な面白味はここにある。

西がこの点を補強して東に迫ることによって，日本のダブルスの水準は，いちぢるしく高められるに違いない。

(三) 女子については，東大阪が姿を消した今日，全く西に精彩がなかった

東西のせり合いが，今日の日本女子を引き上げてきた。高校に時代にはあった東西の張合いが，大学，社会人で消えるとなると，これは，ゆゆしいことで競技力向上委の最大の悩みである。この因は一体どこにあるのであろうか。

ただ強くなれ，男も負けるなという前に，この問題を掘り下げて，真剣に検討する必要があるように思う。

(四) 東は四年生が最後まで頑張り，西は三地区に見るように一，二年が擡頭した

東の場合は一，二年（男子）にのびがないことを正直に認めなければなるまい。西は，三，四年のだらしなさを強調しておきたい。

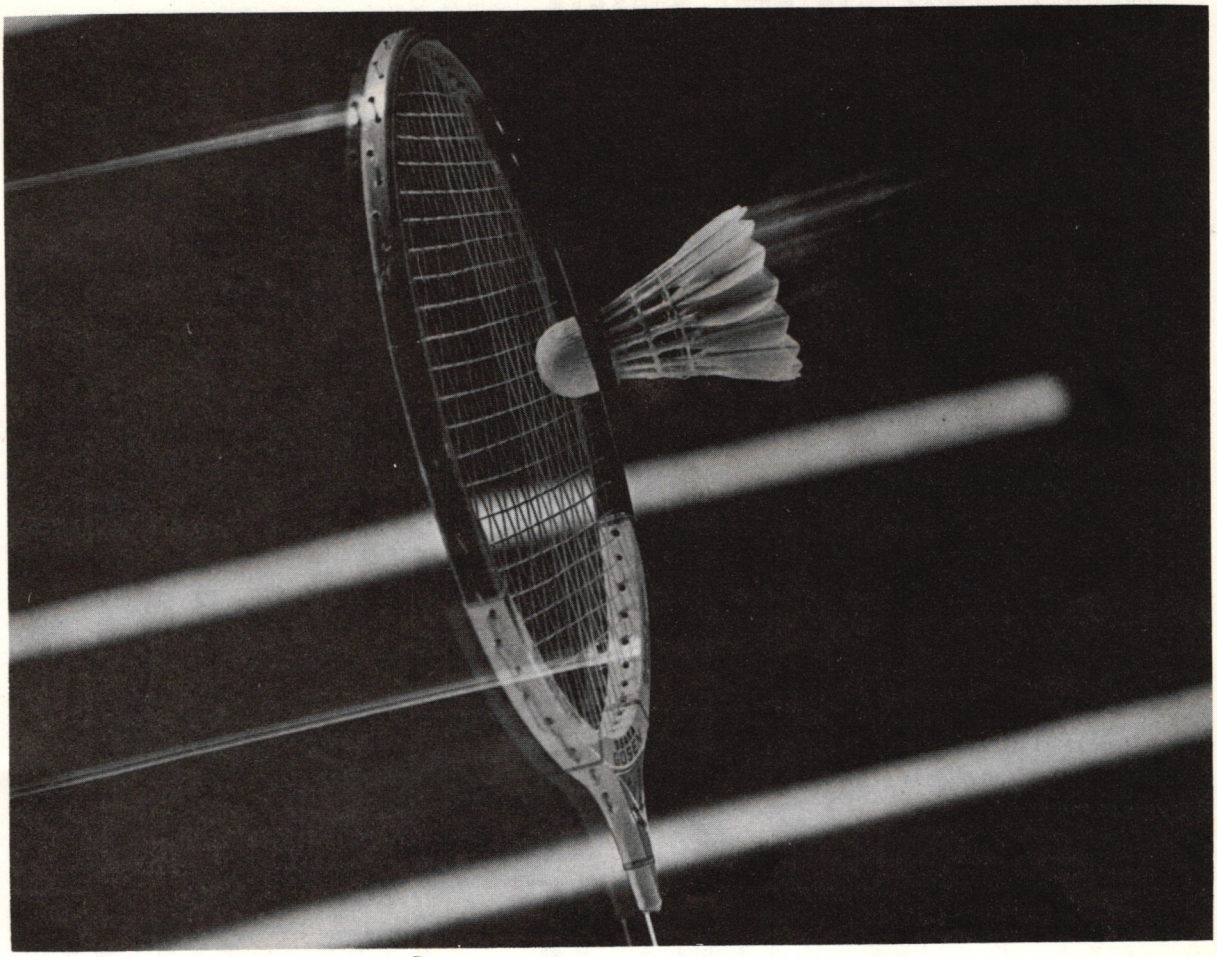
どうも三，四年になると，卒業したような顔をするのが，西の悪いくせである。三，四年になったら，心掛けしだいで，ずっと条件がよくなるはずなのに肝心のところでへたばってしまう。

こういう上級生のリードでは西の台頭はむずかしい。卒業ぎりぎりまで全力をあげて，やっと東に追いつけると思ってもらいたい。

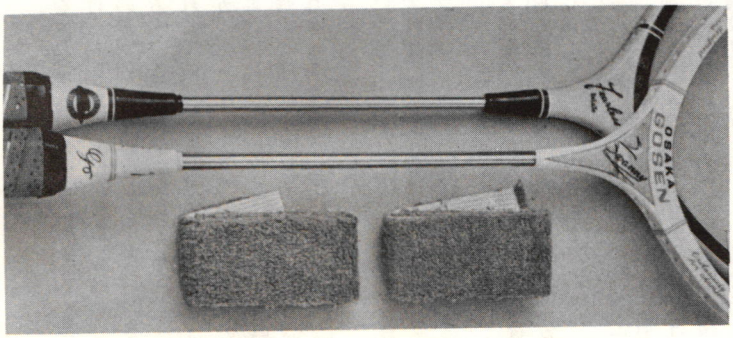
西軍。学生の奮起を切望して，この項を終る。

《新発売》

Swannv



この確かなバイブレーション。
それはスワニー。



特殊合板の力強いフレームに、従来のものより長いステンレス・シャフトの強靭性が強力なバイブレーションを生み、重さも122g以下と今までより軽くなり、それがスピードとパワーの素晴しいバランスを構成し、ふりもシャープな一級品ラケットをつくりました。

No.β スワニー<フレーム・カバー付> ¥3,800

☆お買い上げになりますとタオルグリップがついています。

大阪合繊株式会社
本　社・大阪市東区豊後町4 ☎(06)942-5816 代
東京営業所・東京都台東区鳥越1-26-1 ☎(03)862-6576 代


燃えてあがるは、おはらはぁ、桜島
——第27回国体鹿児島大会——
The 27th National Sports Festival
at Kagoshima, famous for its valcano Sakurazima.



妃殿下もお見えになった。

太陽国体—



さったが，閉会式の最中にげて，参加者を喜ばせた。



開会式のハイライト，炬火の入場

歓迎のことば

鹿児島県協会会長　米丸芳男

今ここに四百名の参加を得て第27回国体バドミントン競技が行なわれることは、私の無上の喜びとするところであります。

本年度は去る六月、世界女子選手権大会において、日本チームが三連覇を成しとげ、さらにミュンヘン五輪では史上初めてとりあげられたバドミントンのデモンストレーションに代表が送られた、まことに記念すべき意義ある年であることを思うとき、一層の感激を禁じ得ません。

私どもは数年来、数々の経験と各方面の多くのご指導により、本大会に万全を期して努力して参りました。しかしながら、なおかつ不備な点もあろうかと思いますので、これらは皆さまの日頃練磨された技術の烈しいやりとりと、バドミントンにかける強い情熱によって頂くことを願い上げます。

限りなくひろがる太陽の光のように　明るく
強烈な太陽のエネルギーのように　たくましく
万物を育てる太陽のめぐみのように　うるわしく

太陽国体の標語そのままに本大会における成果を期待します。



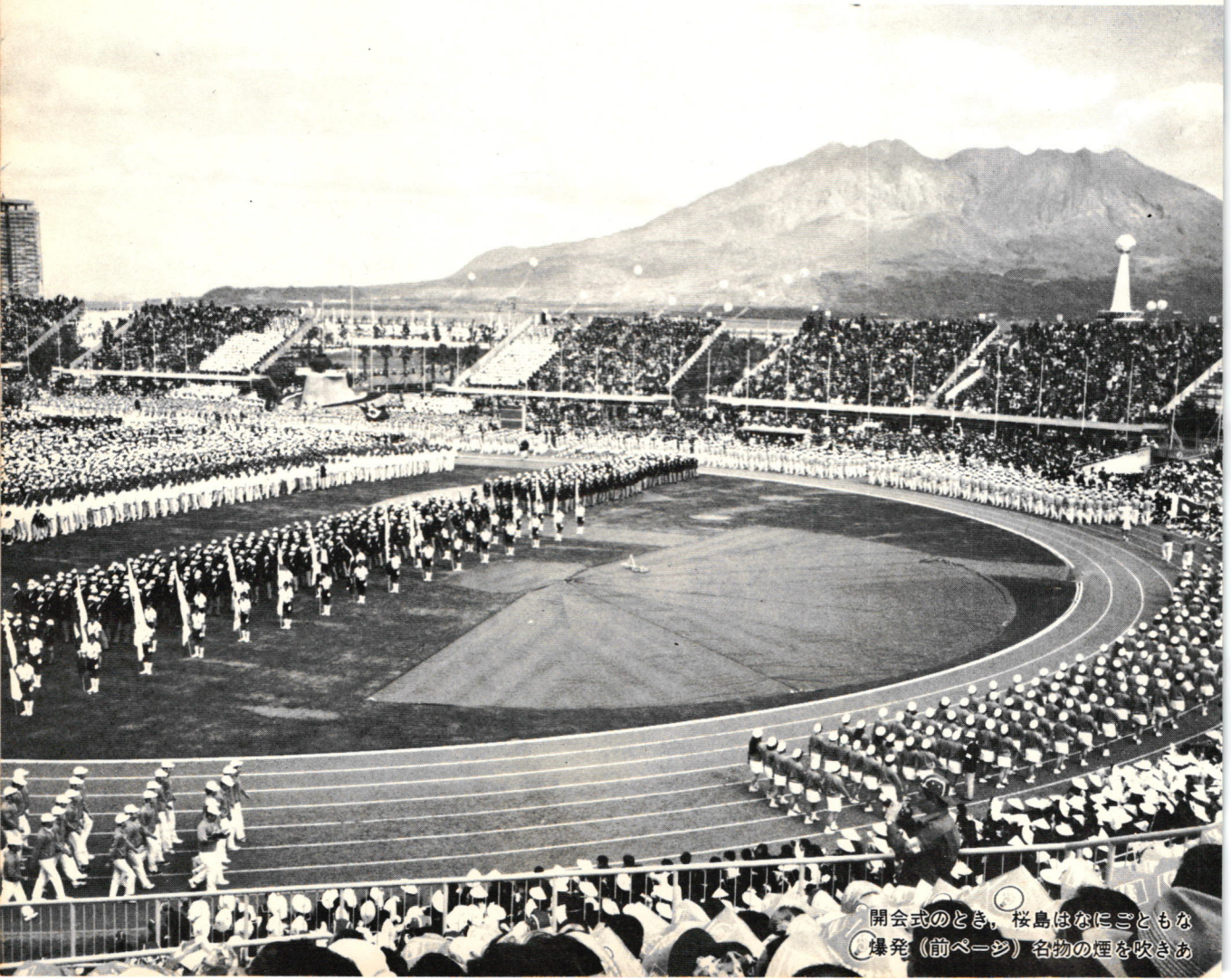
閉会式で高校生のデモンストレーション



菊薫るバドミントン会場には高松宮

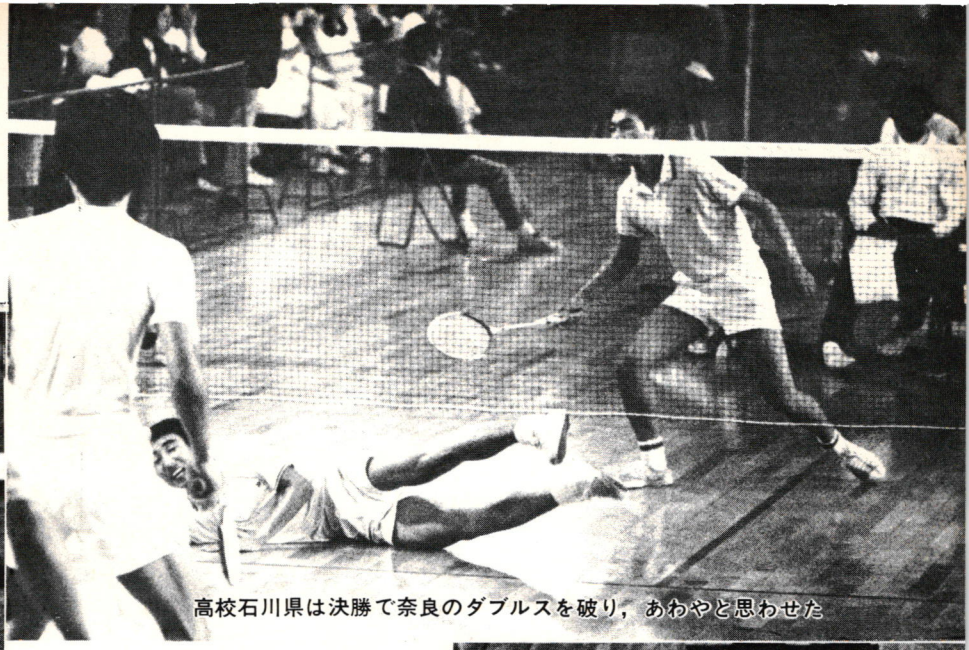
“明るく，たくましく，うるわしく”

―青空にこだまする歓声と拍手，

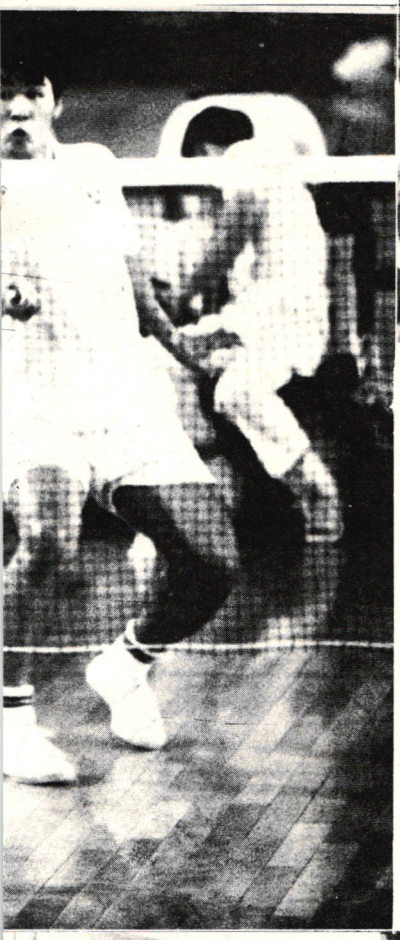


開会式のとき，桜島はなにごともな
爆発（前ページ）名物の煙を吹きあ

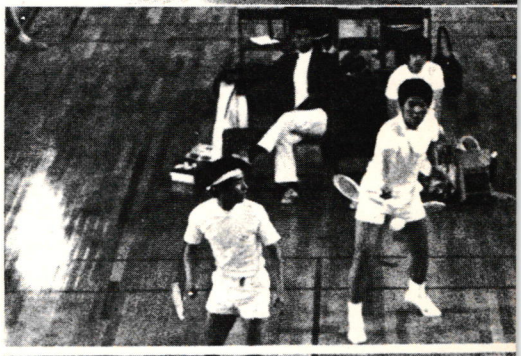
ミントン



高校石川県は決勝で奈良のダブルスを破り，あわやと思わせた

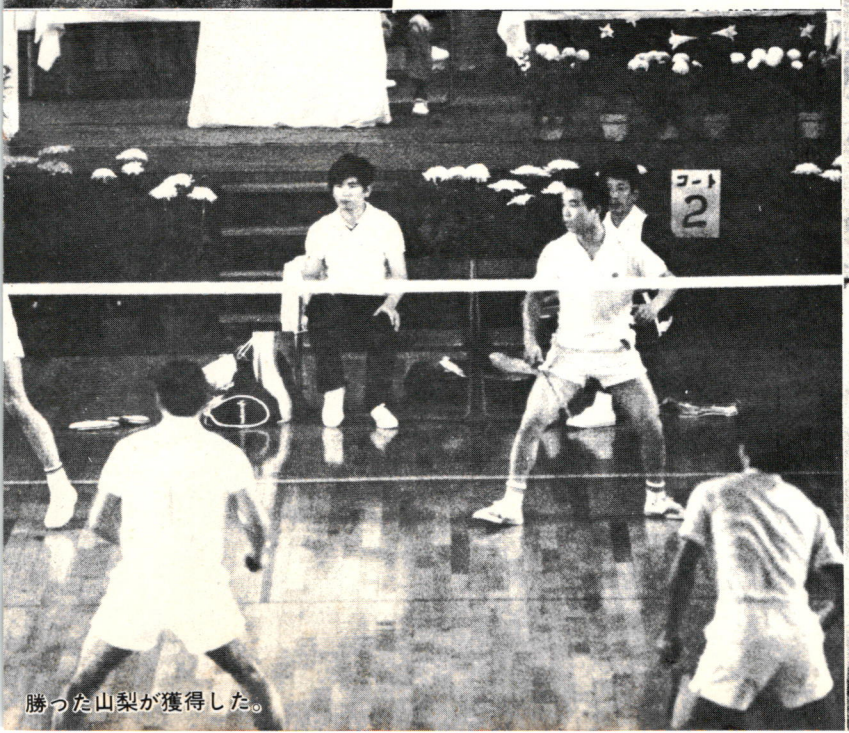


幼少年から高齢者まで、のキャッチ・フレーズで、いまバドミントンの〝輪〟は波紋のように、全国にひろがっている。だが、トップを争うレベルの競技となると、やはり〝若さ〟がモノをいってくる。教員の部で〝青年〟だけをそろえた県が、これまでの伝統県を押え、表彰台に上ったのが、その好例。といって秋山、小島など、30歳に手の届く選手たちが日本の第一線にあることを思えば〝若さ〟は単なる〝年齢〟ではない。それにしても、国体は年に一度のお祭りだ。ベテランの部、ママさんの部などが出来てもよい時期に来ていると思う。





高校は北海道と岐阜がベスト4に進出、気を吐いた

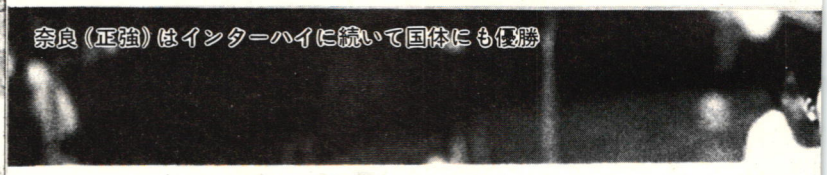


勝った山梨が獲得した。

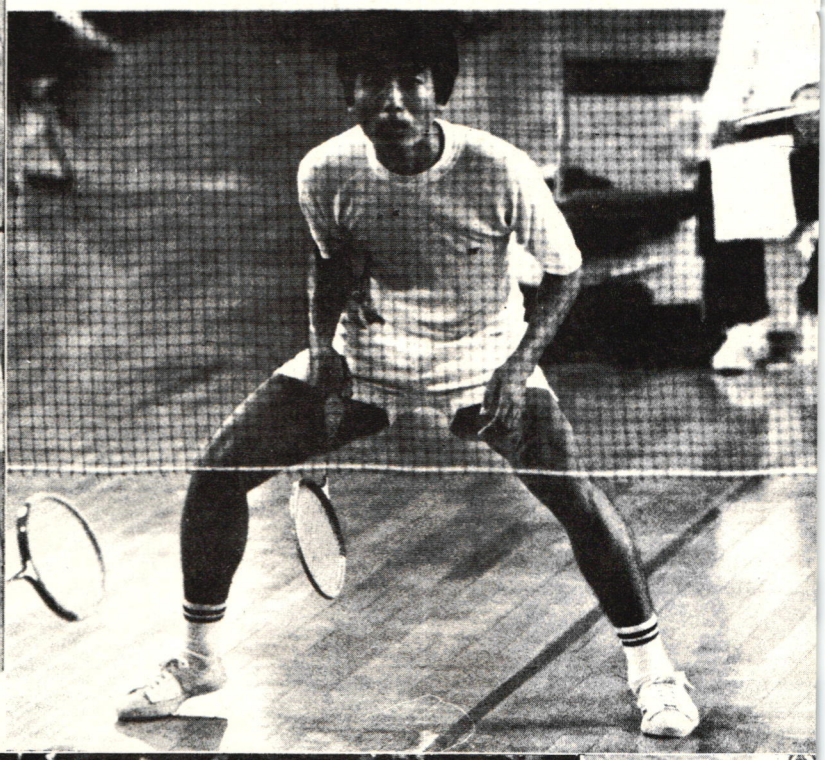
若さでいこう，バド

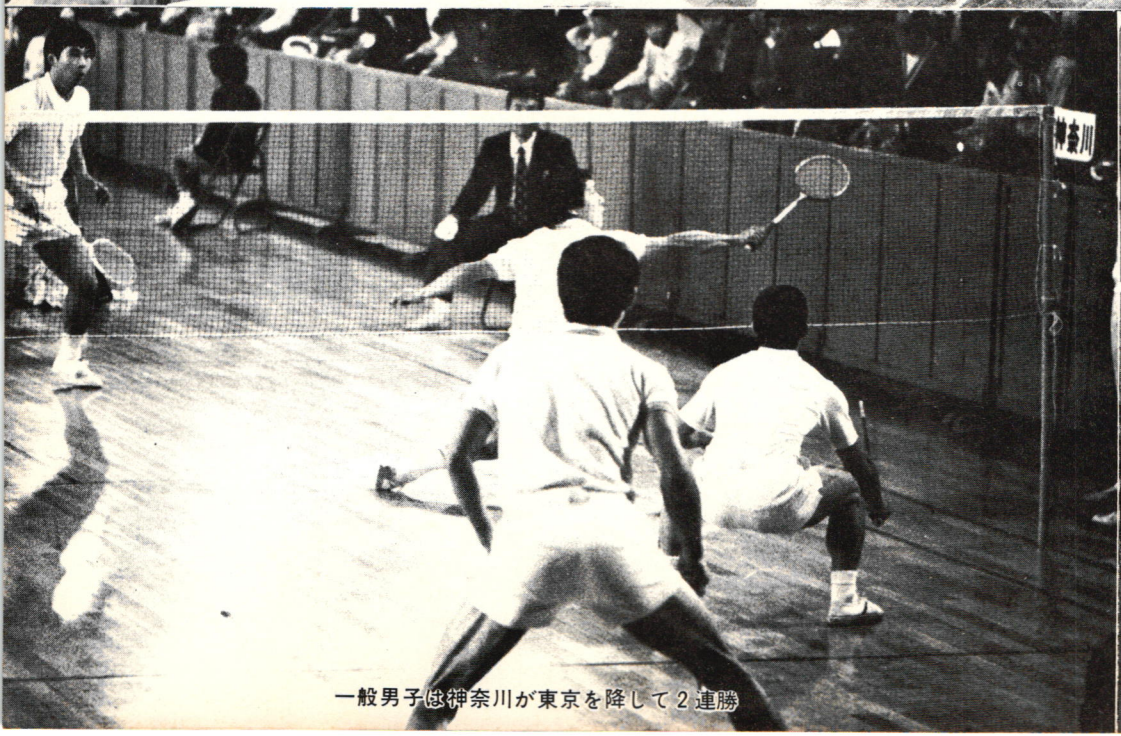


教員決勝、栃木－和歌山。昨年二位の和歌山が優勝して苦杯を返上した

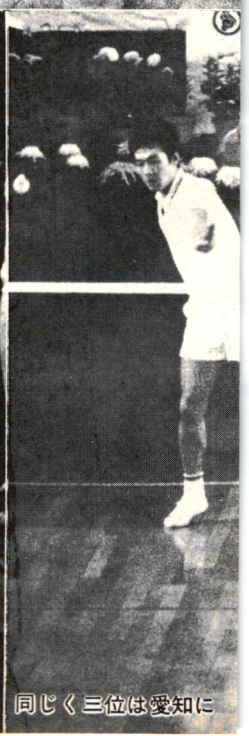


奈良（正強）はインターハイに続いて国体にも優勝

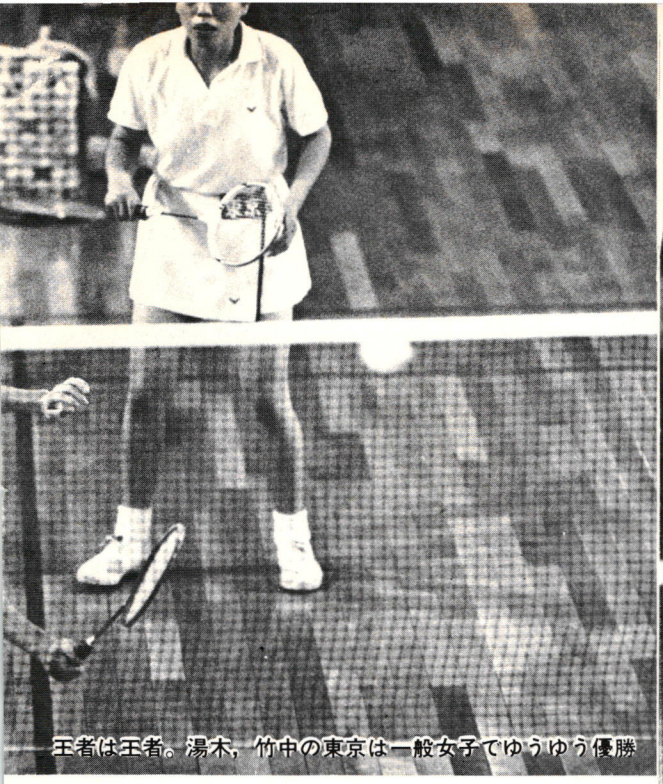




一般男子は神奈川が東京を降して２連勝



同じく三位は愛知に



王者は王者。湯木，竹中の東京は一般女子でゆうゆう優勝



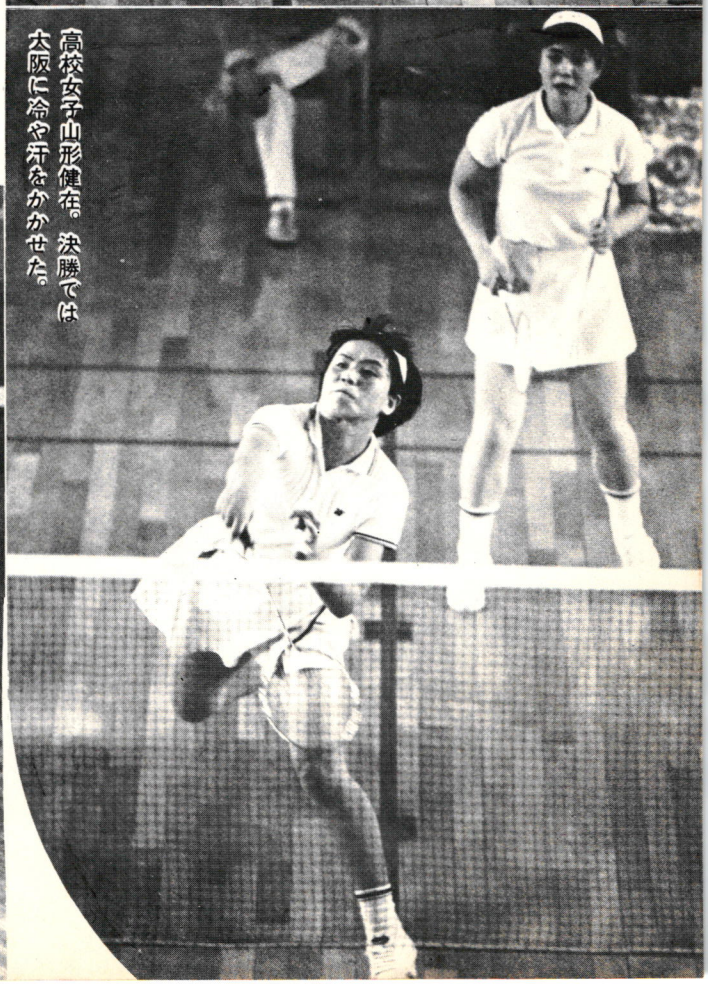
一般女子、愛知は決勝まで進出する意外な健斗ぶりを見せた。

ホープまで

は依然，人材豊富——



一般女子・香川も３位にくいこみ“名門復活”



高校女子山形健在。決勝では大阪に冷や汗をかかせた。



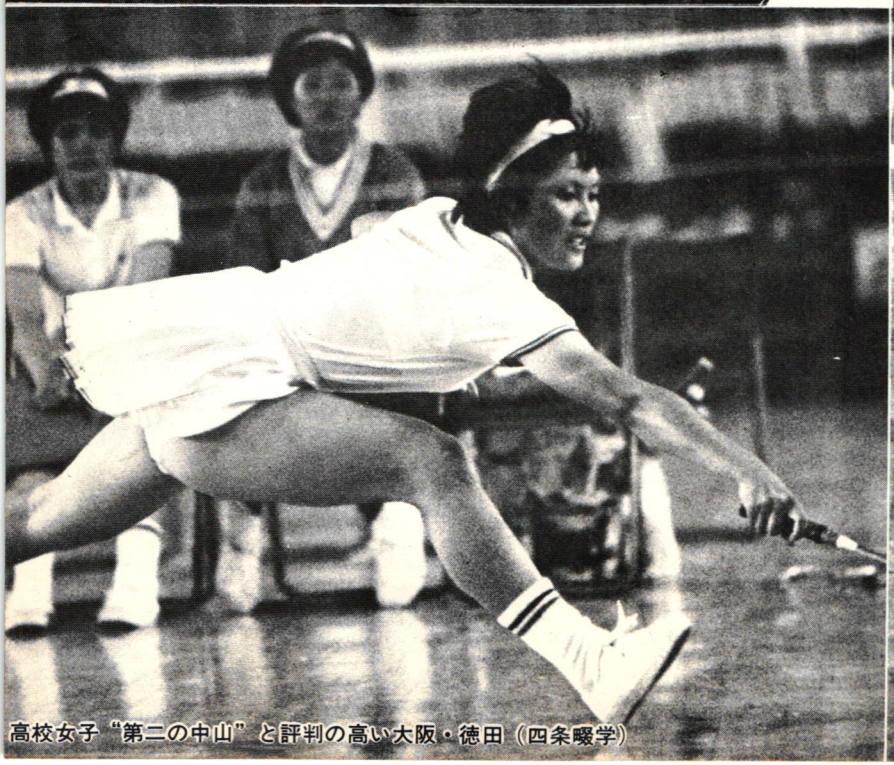
高校女子。大阪は秋本・徳田コンビで男子同様、インターハイに続く栄冠を獲得



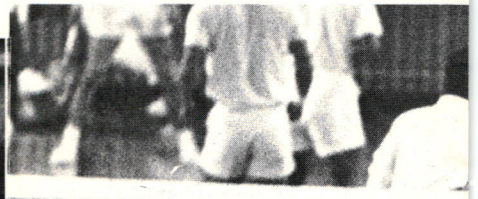


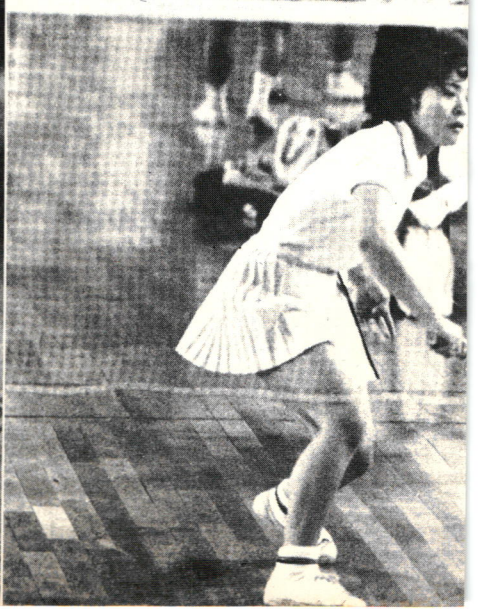
トップから

——女子



高校女子“第二の中山”と評判の高い大阪・徳田（四条畷学）





へはーるばる来たぜ、鹿児島ァ……

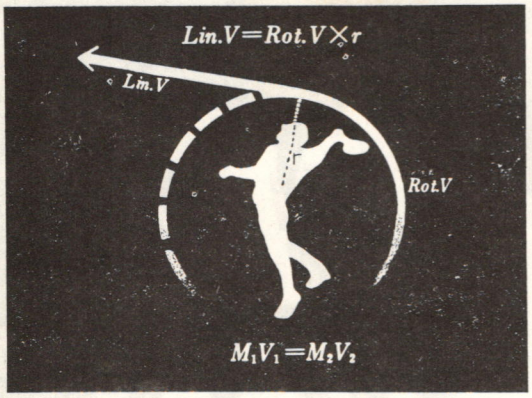
いざ出陣、フェリー上で潮風の中の東京勢。後列左から栂野尾、秦（広報委員）、池田、竹中、村山（協会事務局長）前へ湯木、石崎の各選手



一体製造がラケットを変えた。

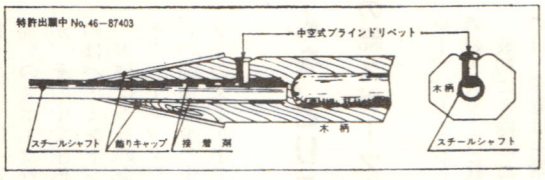
●力学に基づいて製造された、新製品です。

キャリーシリーズ、バトミントンラケットは、従来のシャフトとヘッド(フレーム)を接合した、ステップ付のラケットではなくシャフトとヘッドが一体製造になった、画期的な新製品です。



ハイクリャー、ドロップ、ロビング、ドライブ、スマッシュ、ショートサーブ、ロビングサーブ、ヘアピン、プッシュなど、ゲームの必要場面において、最も効果的な偉力を発揮するという専門家達からの好評を、受けております。

私達は常にプレイヤーの側に立ち、より強靱で軽く、ハイパワーを生み出すラケットを、研究・開発する事に、意欲を燃やしております。これこそキャリー・スピリット(精神)であると、自負しております。責任保証書付きのキャリーを是非一度、お手にとってごらん下さい。



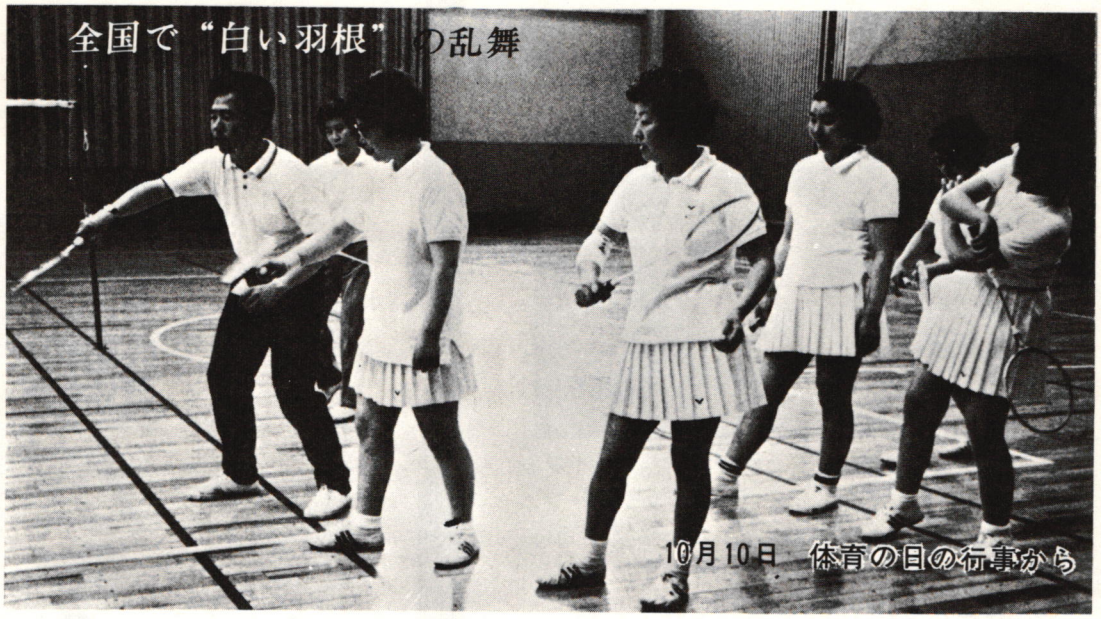
危害防止安全装置を施しているラケットは、いつもプレイヤーの安全をお守りしております。

●キャリー7Sステップ付シャフトフレームのみ ¥3,500
●キャリー7Gストレートシャフトフレームのみ ¥2,500

メトロレジャー株式会社

東京都千代田区外神田5-6-4 TEL. 833-3661(代)

全国で“白い羽根”の乱舞



10月10日　体育の日の行事から

東京体育館の〝親子バドミントン大会〟――集まったのは百五組、二百十人。ところがスタンドの方は満員に近い盛況でざっと五千人。「やはり、やるより見る時代なんですな」と、体育館の事務局員。（東京中日スポーツ）――十月十日「体育の日」全国では一斉に〝一億総参加〟のスポーツ行事を展開したが、その中で圧倒的に多かったのはバドミントン。

本誌は当日の全国の新聞をほとんどチェックしたが、体育の日の関係記事の中に、バドミントンの文字が出ていない新聞は、まず、なかったといってよい。また、この日ひちなんで、各地のスポーツ活動を知らせた記事も多く、その中にも、必ずといってよいほど、バドミントンが含まれていた。この欄では、そのうち、いくつかの例をお伝えしよう。

まず、おとうちゃんを〝とりこ〟に

長崎県教委の総スポーツ化作戦

東京オリンピック後、盛んになったのは、まず、なんといっても〝ママさんスポーツ〟。けっこうなことだが、だれかを、もう一人、忘れてはしませんかねえ。ああ、お父ちゃんだ。

…というわけで、長崎県教育委員会は〝パパも含めたファミリー・スポーツへ〟力こぶを入れようとしている。さらには家族からグループ、地域へと発展させ、最後に県民総スポーツ。このプログラムの中で、バドミントンの占める地位は大きい。

× × ×

長崎県教育委員会は、県民総スポーツのスタートとして、47年度から、主婦のスポーツ振興を取り上げた。予算三百万円を初めて獲得、県内二十カ所にバレー、バドミントン、卓球などの婦人スポーツ教室を始めた。

最初に主婦にねらいをつけたのは「家庭は主婦が中心、主婦がスポーツの場へ出ると、自然に子供たちや亭主族もスポーツに興味を持つはず」という〝下心〟があったから。

第一段階はまず成功したので県教委の48年度の目標は〝家族化〟。休みといえば、ごろ寝かパチンコが相場といわれる日本の、ものぐさ亭主族、はたしてワナにかかるかどうか。県教委は野外活動の中にオリエンテーリング、軽スポーツを折り込んだり、親子教室など、あれこれ計画をねっているが…。

（長崎新聞）

佐世保でも〝教室〟大繁昌

バドミントン人気のマト

こちらは同じ長崎県の佐世保市。市教委が二年前から始めたスポーツ教室が大好評で、小、中学生をはじめ主婦の参加も回を重ねるごとに増えており、家族ぐるみでスポーツを楽しむ地域や職場が目立ってきた。



をさらに盛り上げようと、45年から始まった。初年度はテニス（硬式）、水泳、バドミントン、バレー、少年サッカー。

46年は夏休み中に母子を対象とした水泳教室、秋には婦人コースと一般コースに分けてバレー、卓球、バドミントン。47年は三月に陸上を教え、六月には婦人を対象とした卓球、バドミントン…。

底辺の広がりは市民体育祭の充実となって表われ、各種目とも、受講したあとに〝同好会〟が生れるなど、着々成果をあげている。問題は会場。スポーツ熱が盛んになればなるほど、練習場が不足するわけで、市教委としては、今後、小、中学校の施設利用について、出来るだけ便宜をはかっていく方針。

（長崎新聞）

全町民が体協に加盟

朝日町　バド・サークルも次々に

町ぐるみで体力づくりを進めている富山県下新川郡朝日町では、昨年から夜間スポーツ教室が開設され、以来、家族でスポーツを楽しむ人たちがふえ、成果をあげている。

朝日町は全町民が体育協会に加盟、協会の運営資金を負担するという県内でも珍らしいシステムをとっている。46年九月にこの活動の成果が認められ、同協会は文部省から社会教育優良団体として表彰を受けた。

町では昨年六月から泊小体育館をスポーツ教室に開放、月・木曜日は柔道、火・金曜日はバドミントンと卓球、水曜日は泊婦人会、土曜が一般の自由使用で、いずれも午後七時から十時までとなっている。

昨年は利用者が月三百―六百人程度だったが、47年にはいると七百人、秋には八百人をオーバーする勢い。とくに家族連れや青年学級、お母さんたちの利用が目立ち、多いときには一日百人を越える盛況。

このほか、泊婦人会の活動に刺激され、宮崎校下婦人会も、このほどバドミントン・サークルを開設、毎週土曜日に宮崎小学校を利用して練習している。

町教育委では、このほど完成した福祉・体育センターの一般開放にともない、さらに町民のスポーツ普及が進むものと期待している。

（読売新聞）

北から南から

異色、秋田のKAT

秋田市教育委員会が主催しているスポーツ・グループKAT、これは健康、明るく、楽しくの頭文字からとったもので、43年に開設された。

バレー、バスケット、バドミントン、テニス、卓球、スキー、スケート、水泳などの各種目にそれぞれ五、六十人のメンバーがいる。前期（五―九月）と後期（九―十一月）の二期制で、週一回、二時間の授業。

卒業生は年間延べ三千五百人から四千人。一期終わっても、引き続きという人、別の競技にも進出する人、いろいろあるが五年間で二万人近くなる計算。卒業生はこの秋、県営陸上競技場で家族ぐるみのレクリエーション大会を開いた。（毎日新聞）

選手強化費の一部を返上

岩手県体協　国体の不振で

岩手県体育協会（藤原哲夫理事長）は、鹿児島国体で県選手団の成績が振わず、天皇杯得点5位の目標が9位に終わったため「申しわけない」と、三千五百万円の県費を使った選手強化費の一部、一千万円を県に返済することに決めた。ただし、47年度分強化費は、すでに使っているので、来年度分の予算から一千万円削ることになる。

これについて藤原理事長は、「勝ったから多くもらい、負けたら返す、というような性質のものではないと思う。しかし、各競技団体が安易な気持ちで選手強化に取り組んでも、県から強化費だけはもらえる、ということになっては困る。県費を使うからにはそれだけの責任があるという反省をこめて、今回に限って決めた」と説明している。

岩手県の選手強化費は、岩手国体（45年）を契機に三千万円に増額され、昨年の和歌山国体でも、予想を上回って7位となったため、さらに五百万円プラスされた。

全国的に見ても、三千五百万円は、開催県の鹿児島を除くと和歌山県の四千万円に次ぐ額。国体前の選手強化対策委でも、県体協は「5位に入れない場合は、強化費を返上してもよい」と明言していた。（朝日新聞）

街頭のあかりで猛練習

新庄市のバドミントン熱

こちらは山形県新庄市。東北ではもちろん、全国でも有数のバドミントンのさかんな土地柄だ。やはり体育の日、十月十日には市民三百十人が参加、市体育館十二面のコートで、小・中・高校生、一般、親子、兄弟組などで日頃の腕をきそった。

同市では八月にインターハイのバドミントン競技が開かれて以来、市民のバドミントン熱は上る一方とか。夜間に商店街や街頭のあかりを頼りに練習する市民の姿が、いたるところで見られるすさまじさだ。

（読売新聞）

読者の皆さんへ

読者の皆さん、毎日の新聞の地区版や、催しもの、お知らせなどの欄を注意してお読み下さい。バドミントンをやれる体育館、教室、講習会の案内などが随時、出ています。

各地に体育館建設の槌音

学校解放なども次第に進む



北から南から

スポーツ施設が足りない、もっと欲しい、という声をしきりに聞く。事実、足りない。あらゆるスポーツを楽しむ人々がそう感じている。バドミントンのように、バレー、バスケット、卓球、室内テニス、ハンドボールに体操など、各種、室内競技と一つのフロアを争うのだから、なおさら深刻。文部省でも、いましきりに、その対策を急いでいる。

しかし、スポーツが生活に有益で楽しいものだということはもはや広く認識されている事実だ。少しずつだが、あちこちで体育館建設が進み、そのほとんどのところでは、バドミントンコートが設けられている。協会は、こうしたことに対して、あまりにも無力だが、やがて出来、ふえる体育館に「必ずバドミントン・コートを」と訴え、完成したら指導を買って出るぐらいは出来るはずだ。しっかり！

こちら、がっちり活用組

★客寄せアイデア
動物園でバドミントンやろう

〔札幌〕東京・上野動物園はパンダちゃんのご入園でブームとなったが、全国的に都市動物園の入園者は減少する一方だそうだ。札幌・円山動物園も〝横ばい状態〟とあって、新しいアイデアを考え出した。

園内にバレー、バドミントンのコートなどをつくって、郊外に走りがちな札幌市民の足を吸引しようという作戦だ。

中川園長の話によると「市内の若者グループを確保」することが当面の目標。そのためには環境を改善しなければならないが「まず、芝を増やし、園内に小グラウンドをつくり、気軽にいこえる場所にしたい」

新年早々に着工、バドミントンコート、バレーコートを各二面つくって解放する予定だが、世の中なんでも〝多角経営〟時代のようですな。

（北海タイムス）

時代先取りの経営戦略
デパートでスポーツ教室を

〔名古屋〕こちらも時代を先取りする話。名古屋のデパート丸栄では、七三年夏を目標に、各種スポーツ教室を設けることになった。

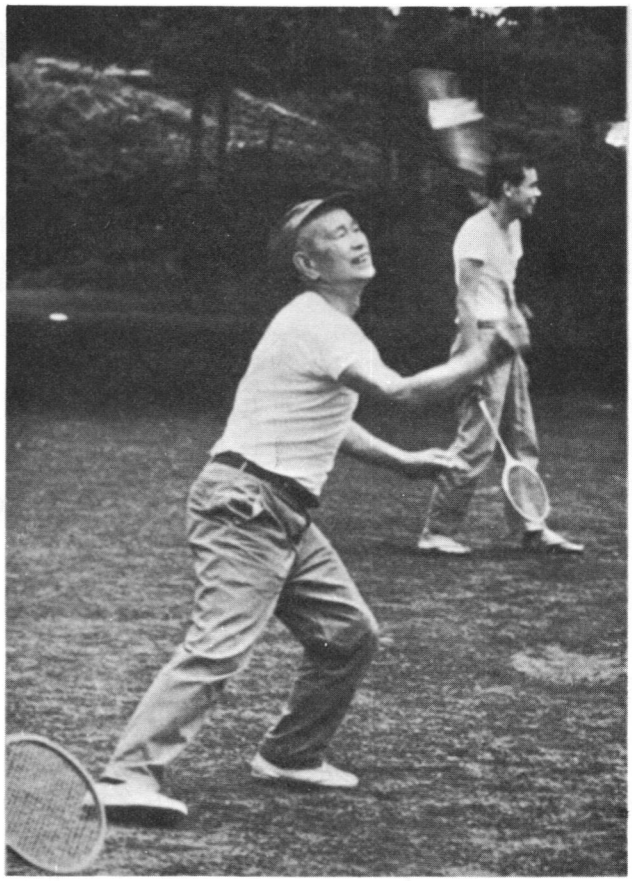
レクリエーション活動は今後活発化する一方であり、スポーツ教室を、この役に立たせると同時に、スポーツ用品販売の拡大を、という〝一石二鳥〟の経営戦略。

丸栄は来秋、現在地の東側でに建設中のビルに移転するのを

機会に、売り場に特色を持たせるため、レジャー、スポーツ、ファッションの三本柱を軸にした〝ヤング志向〟を打ち出す。

このうち、スポーツについては、中部地区の各種スポーツ施設を借り、一流講師による講座を開く。新しく登場するのは、テニス、バドミントン、乗馬などが重点になりそう。

さらに〝体力づくり〟の施設が比較的少ないことなどから、将来はその面の施設の建設、運用も考えている。（中日新聞）



形式ばらず，屋外でバドミントンを楽しむ人々もふえてきた（月刊「体力つくり」から）

★まさに廃物利用

空屋の学校体育館を市民に

〔尼崎〕尼崎市教育委員会は市立園田中学の旧体育館を、十二月から初の地区体育館として市民のために活用することになった。

園田中の体育館は、近くを山陽新幹線が通るため〝騒音対策〟として、同校敷地南側に、新館を建てて移転。旧体育館は空き屋のままになっていたので、教委が地区住民の体育活動に使うことにした。

バドミントン・コートは三面ある。地区体育館に衣更えすると、プログラムを用意して、年齢や技能に応じた実技指導をする。専任の指導者三人を置くほか、体育協会員、体育指導員、自発的協力者などが、バドミントンを始め、各種のコーチに当たる。

幼児、老人、婦人、家族連れなど、自由に利用できる。（読売新聞）

嬉しい学校の夜間開放

大阪で、二件 土浦でも初

〔大阪〕大阪市教育委員会は十二月から文の里中学（阿部野区美章園）と此花中学（此花区高見町）の両校に、バドミントンも楽しめる〝市民レクリエーション・センター〟を開設することにした。

生活水準の向上で市民の余暇時間が多くなり、その余暇を有効に使ってもらおうというわけ。学校施設を一般市民に開放するのは初めてだが、この二校をテストケースに、今後、市内各域に増設していく方針。

両校とも体育館を利用、午後六時半から八時半まで、二時間の解放。数種目のスポーツが行なわれるが、バドミントンは此花中学が火曜日、文の里中学が水曜日。

いずれも専門指導員が指導に当たり、会員制で、会費一カ月二百円。（読売新聞）

× × × ×

〔土浦（茨城）〕土浦市教育委員会でも、市民にレクリエーションの場を提供しようと、土浦一中の体育館を夜間開放している。同市では初めての試み。

体育館の天井に六十八万円をかけて照明灯を新設、真昼のような明るさ。バレー、卓球、バドミントンの三競技ができ、バドミントンは毎週金曜日。（いはらき）

長らく、お待たせしました

スポーツ行事以外はお断わり

バドは六面、吹田市体育館

〔吹田（大阪）〕吹田市出口町三一の二に建設していた体市体育館が完成、市民に開放された。市ではこれを完全に市民スポーツの殿堂として利用してもらうため、プロレス、歌謡大会諸団体の集りなどは一切シャットアウトする。

同体育館は鉄筋コンクリート一部三階建て、総工費二億三千六百万円。五つの体育室があり専門の体育指導員を置いて、市民の健康づくりをする。

第一体育室は千四百二十一平方メートルで、バドミントン・コートは六面とれる。第二体育

室はサーキット、ウェイト・トレーニングなど、体力づくりのジム。

▽開館時間＝朝の部9時－正午、昼の部1時－5時、夜の部6時－9時▽使用料＝時間帯ごとに（個人）小、中学生三十円、高校生以上五十円。（専用使用）大体育室・朝二千四百円、昼三千六百円、夜五千円、全日一万円。他の体育室・朝五百円、昼七百円。夜千円、全日二千円。

市民以外も利用できるが料金は五割増。（読売新聞）

テレビカメラで自動的に危険監視
バドは4面　行田市体育館

〔行田（埼玉）〕幼児からお年寄りまで、市民だれもが気軽に楽しめるスポーツの殿堂、行田市民体育館が完成した。

鉄筋コンクリート一部二階建て、延べ三千四百八十平方メートル、総工費二億三千万円。バドミントン・コート四面がとれる。テニス・コート一面を持つ室内運動場があり、この二階周囲には専用マットを敷いた一周百二十メートル、幅二・五メートルのランニングコース。平家部分には25メートルの温水プールもあり、トレーニング室、幼児体育室を備えている。

運動場、プール幼児体育室の三ケ所には自動コントロールのテレビカメラをつけ、事務室で職員が事故防止に当たる。将来は専門トレーナーも置く。

利用は平日午前九時－午後九時。日曜午後五時まで。料金は運動場午前三十円、午後四十円、夜五十円。プールは夏以外は二時間百円、児童・生徒五十円。（朝日新聞）

都留文化大でもバドを

〔都留（山梨）〕都留市立都留文化大学の体育館が完成した。一部鉄筋、一部鉄骨造りの平家建て千八百六十平方メートル、総工費は施設費とともで八千七百二十八万円。バドミントンのコート、施設も備えられている。（山梨日日新聞）

しばらくは、お待ち下さい

町立の豪華体育館もつぎつぎ

〔大迫町（岩手）〕稗貫郡大迫町は、四十六年度から五カ年計画で、コミュニティ（近隣社会）づくりに取り組んでおり、このほど、中心となるコミュニティ・センターの施設が完成した。

このため、引き続いて体育館建設に着工した。この体育館は鉄骨平屋建てで面積八百平方メートル。フロアだけで五百八十平方メートルあり、バドミントン・コート三面がとれる。総事業費三千八百五十六万円。センターにはサウナがあり、週三日正午－午後二時、五時－九時まで営業（一人二百円）している。（岩手日報）

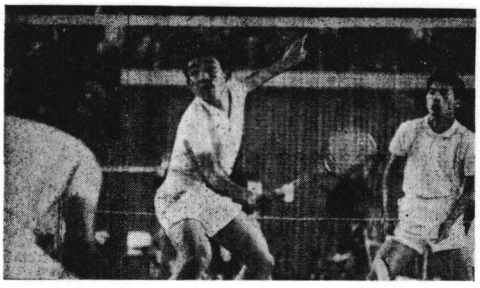
× × × ×

〔朝日町（山形）〕山形県朝日町の町民体育館が来春の完成を目標に進められている。労働雇用促進事業団が三千万円を投資、これに町費をプラスしてつくるもの。

総額五千二百二十八万円で、千二百七十一平方メートル、中二階にバルコニーを兼ねた観覧席がつくられ、バドミントン・コートは四面分が予定されている。（山形新聞）

× × × ×

〔関ケ原（岐阜）〕不破郡関ケ原町の町立体育館が年内に完成する。千五百二十五平方メートル、鉄筋一部二階建て、工費六千七百三十万円。バドミントンはもちろん、バレー、バスケ



〈佐賀県の例〉
もっとスポーツの場を
県立の施設わずかに2

九月六日、佐賀新聞に載った〝もっとスポーツの場を〟と題する一文の書き出しである。

こうした事情は、もちろん、佐賀県だけではないだろう。だが、佐賀はもともと、それほどスポーツが盛んな県ではないから、特に厳しい情勢なのかもしれない。

「スポーツをもっと気軽に楽しむ場が欲しい――五十一年佐賀国体の成功のためにも、スポーツに親しむ人たちを増やそうと叫ばれているが、施設不足に不満の声が多い」これは、さる同新聞は、一例として伝賀市の佐賀スポーツ愛好会の例をあげている。このグループは職場を越えた働く青年たちの集まりで、週一回、バドミントン、バレー、バスケットなどを楽しんでいる。このグループの最大の悩みは場所さがし。

そのうちの一人はこう語る。

「県体育館など社会体育施設は土、日曜はほとんどが行事で詰まっていて利用できない。使用料も高く、県体育館は午後五時から十時まで借りて四千五百円にもなる。学校の体育館、グラウンドも、なかなか貸してもらえない」

現在、県内の社会体育施設（学校以外のもの）は県の施設がわずか2、市の施設21、町村24、多く利用される陸上競技場は合わせて4、体育館も4、運動広場8などで、不足はまぬがれない。学校施設は9割までが開放されているが、一般の人々が借りるのは実際上むずかしい。

ット等に利用される。二階にはトレーニング室、体力測定器具一式も設備される。

興味を持ちながら、楽しく全身運動できるように、というのが大きなねらい、青少年からお年寄りまで、あらゆる町民の体育館として役立つ。

（岐阜日日新聞）

× × × ×

〔名張（三重）〕名張市の蔵持小学校で、来年二月をめざして体育館建設が進められている。鉄筋コンクリート造り六百十二平方メートルで、バドミントン・コートは二面。（産経新聞）

× × × ×

〔国見町（福島）〕国見町は町民体育館の建設に秋から取り組んでいる。鉄筋コンクリート一部二階建。バドミントン・コートも用意される。総工費五千七百三十万円。三月完成の予定。国見町は総理府の「体力づくりモデル町」に指定されており、新体育館の完成でスポーツの振興が期待されている。

（福島民友）

× × × ×

〔鳥取〕鳥取市が旧南中跡地に計画中の総合体育館が来秋の完成を目標に、建設急ピッチ。鉄筋コンクリート三階建て、四千二百八十平方メートル、競技用床面積二千五十三平方メートル。バドミントン・コート十二面がとれる。観客席二千六百四十人収容、総工費四億五千万円、県内で最大規模の体育館となる。

（毎日新聞）

設置者別による日本の体育施設数（昭44　文部省調べ）

設置者	全体育施設 実数	全体育施設 率	体育館 実数	体育館 率
小・中・高校	101,672	68.6%	23,488	90.8%
大学・高専	5,720	3.9%	635	2.5%
公共	10,193	6.9%	985	3.8%
事業所	23,768	16.1%	675	2.6%
民間（非営利）	2,522	1.7%	44	0.2%
民間（営利）	4,184	2.8%	21	0.1%
計	148,059	100.0%	25,848	100.0%

こんなにも足りない体育館

文部省の計画も〝二階から目薬〟か

ない、ないというが、我が国の体育施設は、一体どのくらいあって、どのくらい足りないのだろうか。

「体育・スポーツの普及振興に関する基本方策について」保健体育審議会（東竜太郎会長＝IOC名誉委員）が、さきごろ文部大臣に答申した審議資料によると、別表の通りとなっている。

すなわち、川や海の遊泳場からゴルフ練習場、ボウリング場ハイキング・コースなど、ありとあらゆる種類の施設をふくめて約15万カ所。ところが、このうちの72・5％は学校が持っているものだ。

公共施設といって、国や都道府県・区市町村などが持っているものは、全部で7％にも満たない。バドミントンをやる上で縁の深い体育館のうち、公共のものは、これまた一千にも足りない状態。

夜間や休日の学校開放も現実には簡単でなく、ましてや日常的に借りることはむずかしい。これでは、いわゆる〝クラブ〟や〝教室〟が育たないのも無理はない。

では、どうする。つくっていく以外に手はない。

審議会の推定によると、十五年後、日本のスポーツ人口（登録競技者以外に、しろうととしてスポーツを楽しむ人を含む）は千五百万人になる。現在の約二倍だ。

これには全国で施設が四万一千カ所必要である。この数字は〝公共施設〟だけで、学校や会社などが持つものは計算外。このうち既存施設を除くと、約三万一千カ所が必要となる。

文部省は当面、さらにこのうちからテニスコートなどを差し引いたものの半分を、五年計画で建設しようとの考え。といって、資金のすべてを国が出すのではなく、三分の一の補助金。

それでも地方は苦しいだろうというので、残りの財源についても、関係政府機関が協力してくれるように頼む。もっとも、文部省のいう三分の一補助も、予算が大蔵省に認められたわけでなし、認められても五年かかって、少しずつふやしていく方式。

まったく、気の遠くなるような話で、これでは、いつになったら最終的な目標が達成できるのか。しかも、新設の体育施設に要するお金は、建て物だけで五千億円の推定。

〝日本列島改造〟旋風で、土地は値上りする一方だというし、土地そのものを大企業などに買い占められてしまったら、スポーツ施設をつくる場所もなくなる。

審議会策定の施設設置基準によると、体育館は人口一万人当たり床面積七百二十平方メートルのもの一カ所、三万人で二カ所、五万人で三カ所、十万人で五カ所。七百二十平方メートルというのは、バスケットができる広さ。バドミントンなら三面はとれる。

絵にかいたモチにならぬよう政府にがんばってもらおう。そして、しばらくはネコのヒタイのようなスペースでも、がまんして一生懸命プレーしよう。

10人に4人はスポーツに無縁

＝総理府広報室が成人の実態調査＝

この一年に散歩すら…の不健康人間ふえる

総理府広報室は十月九日、さる六月に実施した「スポーツに関する世論調査」の結果を明らかにした。全国二十歳以上の人、二千五百二十九人を対象に調べたもので、散歩から選手権試合まで、広い意味でのスポーツを、この一年に一度でもやった人は、全体の6割。なんにもしなかったという人は前回の調査（昭和40年）の55%から40%に減少した。

しかし「この一カ月」に限定してみると52%もおり、日本の成人の半分は、一カ月に散歩も肩こりをほぐす体操もやったことがない〝不健康人間〟であることがわかった。

この、スポーツに無縁な人々は大都会では少く、町や村に行くほど多いこと、年をとればとるほど多いこともはっきりたしかめられた。スポーツ界も文部省も〝一億総スポーツ化〟などとカケ声は勇ましいが、実際は以上のとおり。日本人がいい意味でスポーツアニマルになるのはいつの日？



▲年に一度の運動会にも参加できないパパさんが多いとは。これでは“一億総スポーツ化”など遠い夢。日本人はやはりエコノミック・アニマルか。

大都市生活者ほど「やってます」

地方は施設に恵まれない？

この1年間、スポーツをしなかった人々の色分けと、その理由は次の通り。

1・居住地別　①町村在住者の中では48%②人口10万未満の都市在住者の中では44・9%③人口10万以上の都市在住者の中では35・5%④東京都の区在住者の中では22・3%。

★都市化の進んでいる場所に住む人ほど、スポーツに親しんでいる。その必要性を痛感していること（公害から健康を守るとか、ストレス解消とか）またスポーツ施設に恵まれた環境にあることが、その理由だろう。

2・性別、年齢別　男女別に見ると、男性（31・2%）より女性（46・9%）の方が、スポーツをしていない。年齢別で分けると、高年齢層になるほどスポーツに無縁な人がふえ、60歳以上では、女性の90・1%、男性の73・2%が、この一年間、一度もスポーツをしなかった。

★高年齢層の人ほど、スポーツの楽しみを知らないのは当然だが、同じ場所で同じスポーツを若い者といっしょにやることも、なかなかむずかしい。施設と指導者の問題が、まだまだ残っている。

ママさんスポーツが盛んになってきたといっても、現状では二人に一人までいっていない。施設、指導者の問題のほか、主婦はやはり忙しいということが考えられる。

3・職業、学歴別　一年間に一度もスポーツをしたことのないのが①一番多いのは農林漁業

の従事者で60・2％②主婦45・2％③商工業、サービス業37・8％。これが企業管理職になると10人のうちの2人（19・1％）に減り、いわゆるホワイトカラーでは、10人に1人（10・3％）に減っている。

学歴で見ると、大学卒業者でスポーツをしなかったのは13・5％だが、中卒者では51・9％と対照的。

★スポーツをする、しないというより、できる、できない（環境や立ち場にある）ということの方が正しいようだ。生活時間にゆとりがあるかないか、あったとき、それをなにに使うかは、職業や学歴によって違ってくる。

忙しい・年だよ・疲れたなあ

4・なぜスポーツをしないか

一番の無関心派は中年層男子

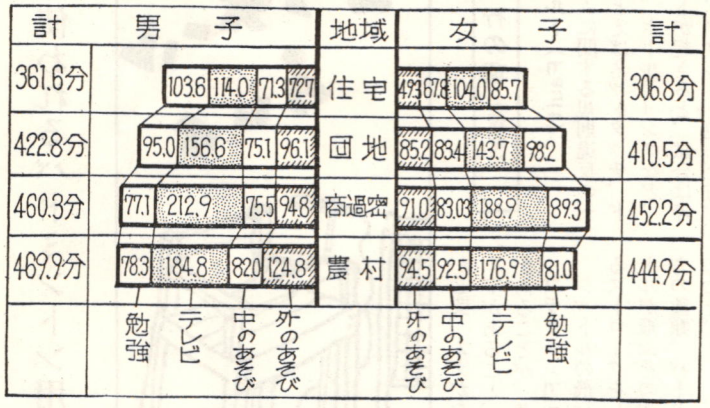
①年をとったから――は当然のことながら若い人にはほとんどなく、四十代（26％）から急にふえる。②ついで、仕事が忙しい――は意外にも若い方（二十代72％、三十代70％）に多い。ほかに③身体が弱いから（11・5％）疲れてやる気がしない（9・6％）も少数あるが④スポーツがきらいだ、というのはごく少数（6・6％）だ。

★このデータを、もう少しまくまとめると、男性の場合は「仕事も忙しく、もう年も年だ。たまにヒマがあっても、スポーツなど疲れるだけだから、まあ、ごろ寝のほうがいいや」というのが中年のパパ。

女子の場合は「お父ちゃんの月給も大したことないし、子供が小さいから手がかかってねえ。スポーツだなんて、ああ忙しい、忙しい」というのが二十代後半から三十代にかけての母親稼業、となりそうだ。

お母ちゃんにヒマができたころには、お父ちゃんは中堅サラリーマンながら、体力下り坂。すれちがいですね。

〈小学六年生の放課後の過しかた〉



現代っ子は遊びの“失業者”

大阪府教委が小学生白書

総理府の調査は大人を対象にしたものだったが、大阪府教育委員会が十二月にまとめた〝子供の遊び白書〟によると、これまた予想どおりのお寒い話。テレビにかじりつく時間が断然多く、家以外（戸外）で遊ぶ時間はごくわずか。場所がないせいもあるが家の外で遊びたい、という意欲すら、うすれてきているとか。以下は産経新聞（大阪）が伝えるそのリポート。

× × × ×

白書は、以下七百五十九の小学校の中から住宅地区、団地地区、商業・過密地区各3校、農村地区5校の計14校を選び、六年生千六百六十四人と父兄千五百三十七人に、遊びの実態と意識について調べた。

圧倒的に多い〝テレビ中毒〟

「戸外で遊びたい」は半数もない

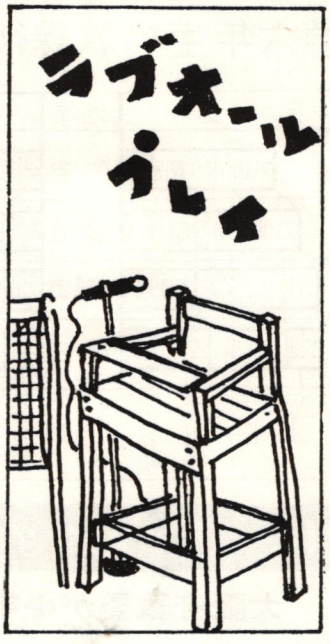
子供たちの放課後の生活時間を勉強、テレビを見る、遊び（戸外と自分の家）に分けてみたのが上記の一覧表。テレビを見る時間が断然長い。もちろん、これには生活環境の影響もあり、過密地区の子は遊び場がほとんどない（道路で遊ぶのが6割もいる）などの理由が、テレビにかじりつかせていることが考えられる。

しかし、どこに住んでいる子でも、戸外で元気にかけまわる時間は全く少く、遊びといっても、家の中で動かない時間も多い。子供は風の子、などという時代は、もう過ぎたのか、農村の子でさえ、テレビの前から離れないことがよくわかる。

親の8割までが「近所に遊び場がない」と訴えているそうで施設の貧困は、目をおおいたくなるばかりだが、それにしても「家の外で遊びたい」子供は全体の46％しかいない。現代っ子は〝テレビ中毒症〟にかかっているようだ。

がっかりしてばかりもいられないが、人気のある遊びの方は男の子は野球、（キャッチボール）ソフト、ドッジボール。女子はバレーが一位で以下ドッジボール、バドミントン。球技一色といったところだ。

よく使われるバドミントン用語(完)



ハ行の項（続き）

フォルト（Fault）
ゲームに関する規則違反の一種。たとえばネットタッチ、ドリブル、ホールディングなど。フォルトが起きると、試合は停止され、フォルトを犯した方が失点し、サイドが入れ代わる。

プッシュ（Push）
ネットぎわで、ラケットを立てて、相手コートに押し込むような感じで打つタマの総称。ストロークの種類というより、一種の俗種。

フットワーク（Footwork）
ゲーム中の足さばき。シャトルに追いつくため、ある種のストロークを打つためには、それに応じた合理的なフットワークが必要。ムダがないこと、スピードがあること、脚力（耐久）があることが、基本的に必要。

フライト（Flight）
シャトルの飛行。つまり、あるストロークをしたときにシャトルが飛ぶその線をいう。飛び方の種類。バードフライトと同じこと。

プレースメント（Placement）
一般的に配置の意。スポーツでは配球、タマくばりの意味で使う。相手の弱点、逆、あるいはコート内で空いたところなど自分がねらって思い通りのところに打つこと。動詞としてのプレースを使って「よくプレースされたタマくばりで」とか「プレースメントがさえた」などという。

フレーム・ショット（Frame shot）
フレーム（ラケットのワク）の部分でシャトルを打つこと、打たれたタマ。以前はフォルト扱いだったが、最近は有効打。

ヘアピン・ショット（Hairpin shot）
自陣ネットの至急距離から、ラケットにシャトルを乗せるような感じで、ネットテープすれすれに、相手コートへ、ぽとんと落とすようなストローク。飛行線が髪に使うヘアピンと似ているので名付けられた。

ポイント（Point）
得点。サービス権を持つサイドが打ち勝ってはじめて得点になる。

ボーク（Balk）
反則の一種で、相手をかく乱するような行為。サービス権を失い、レシーブ側なら失点となる。

ホーム・ポジション（Home position）
試合において攻守の基地となるコート内の場所。中央部の前寄りが一般的。どこに来たシャトルでも最短距離で追いつくよう考えられた位置で、シングルスの場合には一打ごと必ずここに戻って次に備える。

マ行以下の項

マッチポイント（Match point）
あと1点で試合が決まるという時のポイント。ゲームではゲームポイントという。勝負に弱い選手はマッチポイントを握っても、なかなか最後の1点がとれない。

ミックスト・ダブルス（Mixed doubles）
略してミックス。混合ダブルス、男子と女子でペアを組む。

ユーバー杯（Uber Cup）
女子の団体世界選手権。優勝杯がユーバー夫人（英）から寄贈されたので付けた。

ラウンド・ザ・ヘッド・ストローク（Round the head stroke）
バックハンド側に飛んで来た高いタマを打つのに使うストローク。ハイバックが弱い場合、回り込んでフォアで打つが、この時ラケットが頭上で一回転するので、この名がついた。

ラブ（Love）
ゼロ、0点のこと。テニス用語からの転用だが語源不明。試合開始やセッティング開始では主審が〝ラブ・オール〟とコールする。

ラリー（Rally）
サービスが始ってからシャトルが床に落ちるか、フォルトなどの理由で、ゲームが停止するまでの連続した打ち合い。

リーチ（Reach）
手の届く距離、または範囲。狭義では指極（両手を延ばした指先から指先まで）のこと。

リスト（Wrist）
手首。内側に曲げる動作をスナップ、外側への場合をフリックという。

レット（Let）
不測の障害。これが起きるとプレーはノーカウントとなり、サービスからやり直す。レット・イット・ゴー（不問に付し、そのままやらせる）というのが原義。

ローテーション（Rotation）
割役り、受持ちなどが順次変わっていくことから、ダブルスのフォーメーションの一種をいう。お互いの守備位置を交互に変えて戦う戦法。

ロング・ハイ・サービス（Long high service）
高く遠く打ち、相手コートのバック・バウンダリ・ラインまで飛ばすサービス。主としてシングルスで使う。

ロング・サービス・ライン（Long service line）
サービス・コートの後方の境界線。一般的にはダブルスの場合のものをいう。

大会運営規定100問集。

〈第3回〉日本教職員連盟編

問13からしばらくは、日本協会主催競技会に関する時期、内容、トト杯、ユ杯の説明や大会名称の注意などが続いていますが読者の皆さんには直接、興味や関係がなさそうなので、省略することにします。

以下、これから先も、あまり必要と思われない点は飛ばすことがありますので、あらかじめ、お断わりしておきます。また必要に応じて、規定そのものを掲載した上で、問答をつけることにします。

第3章要項・第8条　競技方法には次の事項を明示する。

1・個人戦か団体戦か

2・トーナメントか、リーグ戦か、対抗戦か。

3・トーナメント戦においては3、4位決定戦を行なわないときと、2、3位決定戦を行なうときは、そのむね。

4・団体戦の場合においては単複それぞれ何試合を、いかなる順序に行なうかを。

問35　団体戦とはダブルスで個人戦はシングルスだと考えている人がありますが。

答　それはおかしいですね。ダブルスは普通、個人戦です。団体戦はダブルスやシングルスをいくつか集めて1対抗としたものです。

たとえばユーバー杯戦の1対抗は3単4複の7試合で、4試合勝った方を勝ちとします。トマス杯戦は5単4複の9試合ですから、5試合勝った方がその対抗の勝者となります。

日本では実業団、高校、学生各大会が2複3単で、教員大会は男子が2複3単、女子は1複2単です。国体も中学生も1複2単ですが、中学生は1対抗の中で同じプレーヤーが2回（単と複の両方には）出てはいけないことになっています。

規定はない団体戦のオーダー

問36　1対抗の中にダブルスやシングルスが2試合以上あった場合、プレーヤーはどんな順番に出すのですか。

答　日本では規定を設けていないのです。だから、たとえば1対抗の中にダブルスが2試合のとき、一番目のダブルスに強い組を出しても、2番目に出してもかまいません。これを「作戦オーダー」と俗称しています。

そして相手チームの心理を読みその裏をかいて、有利なオーダーを作るのが優れた監督やコーチだという考え方さえ、あるようです。

ランク順の対戦が競技の本旨に沿う

しかし、バドミントン競技の本質に沿ったオーダーは、むしろ、ランキング順によるオーダーではないでしょうか。

ユーバー杯戦の1対抗は3単4複といいましたね。この場合シングルスでは、両チームから3人ずつのプレーヤーを出し、一位（ランキングの）同士、二位同士、三位同士の3試合を行ないます。試合順序は話し合いか抽選で決めますので、第一試合が一位同士のシングルスとは限りません。

ダブルスでは両チームから二組ずつ出し合い、一位同士、二位同士、一位×二位、二位×一位の4試合を行なうのです。

問37　トーナメントは大会ということではなかったのですか。

答　そうです。ただしトーナメントというだけで、エリミネーション・トーナメントを指すことが多いのです。これは勝ち抜き戦という意味になります。リーグ戦は、もともと、あるリーグ（連盟）の中での試合で、普通、総当り戦をしますので、総当り戦ならなんでもリーグ戦と呼ぶようになりました。

（承前）**第9条**　団体の編成には一チームの最少および最多数、ならびに監督およびコーチの許容人員数を明示しなければならない。

また申込み後にメンバーの変更を認める場合には、その方法および申出の期限を明示する必要がある。

第10条　参加資格には本会登録の必要の有無を明示するとともに、本会加盟支部、事業所、学校などの承認または証明などのある場合は、そのむねを明記しなければならない。

チーム編成の最少数はなぜ書くか

問39　チーム編成の最少数をなぜ書かなければならないのですか。

答　たとえば1対抗が2複3単の5試合のとき、三人あれば、ダブルス1試合棄権することによって試合ができます。残りの4試合中3試合勝てば、その対抗に勝つことにもなります。しかし、それでは団体戦の本来の姿ではない、という考え方から、最少人数を「4」としておけばよいわけです。

日本協会の大会出場には登録が必要

問40　日本協会に登録していない人でも、日本協会の全国大会に出られることがあるのですか。

答　普通にはありません。中学生も登録費はいりませんが登録はすることになっています。ただ一つの例外は、総合大会に出る外国選手です。これはその国のアマチュアで、ランキング選手であればよいのです。

各国の最高の大会は、たいてい外国人の参加を許しています。これをオープンといいます。日本の総合大会はオープンなのです。

（続く）

この欄は日本教職員連盟のご厚意で紹介しているものです。なお、この大会運営規定100問集は一部百八十円（送料別）左記で取り扱っています。百万人のプレーヤー必携の書として一冊お求め下さい。

◎東京都練馬区旭丘一ノ五一
日本教職員連盟、前田耕作方

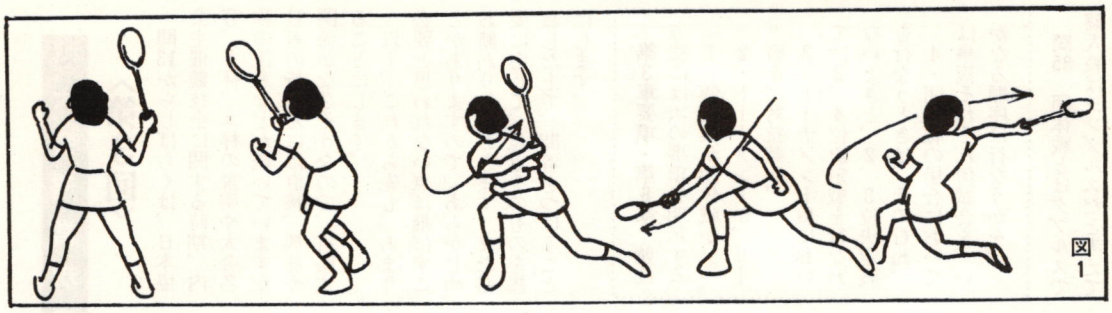


図1

百万人のバドミントン上達法

バック・アンダーハンドの要点

要求される正確なコントロール

＝主目的は窮地からの脱出，逃げ＝

配球，コースの厳しさ欠けば致命傷

今月は、ストロークの解説最終回として、バック・アンダーハンド・ストロークについて考えてみましょう。

このストロークの要領は、バック・サイドアーム・ストロークの場合とほぼ同じであると思っていただいて結構ですが、飛来するシャトルのコース、角度によってラケットを振り出し始めてからインパクト（ヒットする）までのスイング・フォームが変わってきます。

本来ならばバックハンドではできる限り処理しない方が理想であるし、ラリーの打ち合いの最中でも、バックサイドへ打たれないように進めていくことが望ましいのですが、そうこちらの思いどうりにはいかないのが常。

そこでどうしてもバック・アンダーハンドで処理しなくてはならないフライトは、――。

まず相手から仕掛けられたものとして、ネットぎわ、コートの左前方スミに落されるカット、およびドロップがあげられます。またドライブ気味にスピードのあるフライト（ネット・プッシュを放たれた場合など）で左側下方を突かれた時、そして、相手より大きく深くコート左後方スミに打ち返され（クリアなどで）どうしても追いつききれなかった時、の三つがあげられます。

これら三つのフライトを処理するアンダーハンド・ストロークは、それぞれに適したラケットの振り出し方、スイングがあり、これはまた、相手にリターンするフライトの種類によっても変わってきます。

仕掛けられたカットおよびドロップからのリターンは、態勢の立て直しをはかり、時をかせぐために、大きく打ち返すハイクリア、それとヘアピンでネットプレーへ誘い込む方法があります（それぞれにクロス・ネットが加わるので、四種類のリターンとなる）。

プッシュ等で打ち返され、ドライブで左側下方を攻められた場合のリターンは、比較的強い球勢におされていることが多く、あまり余裕がないので、いきおい、返球も単調になりがちですが、それでも手首の返しを強く利かすことによって、態勢のばん回をはかることが可能となります。

この場合のリターンはサイドラインに沿ってストレートで返すドライブ、そしてネットへ落すドロップ、またクリアがあります（それぞれにクロスネットが加わるので、六種類のリターンが生まれる）。

最後にクリアなどでバックサイド後方深くを攻められた時のリターンですが、この場合もプッシュで攻められた場合と同じ六種類のリターンが可能となります。

さて、それではこれらのリターンをするためのラケットの振り出し方（ストローク）について触れましょう。

× × × ×

左前方スミを攻められた時、これはもうどうしても腰を低く落し上体をかがめ、ヒザを深く曲げてレシーブしなければなりません。この時、一瞬、左手をコートについて、前傾したからだを支えることも一つの方法であるし、実際のゲーム中でもしばしば見受けられます。

気をつけなければならない点として（何もこの場合に限りませんが）シャトルを捕えに向うとき、ラケットは決して前方に突き出さないで、左肩口にグリップが来るくらいにかかげるようにしたままで、ヒザを曲げ、

腰を落とし、上体を前傾させながらラケットをすーっと振りおろしはじめ、手首を柔らかく利かせながらU字を描くように、こんどはすくいあげるように振りあげます。

シャトルを捕える点はラケットが一番下るまで降りきり、逆に上方に向いはじめた時（理想的なのは、最大限に上方）です。そしてヒットした瞬間にラケットの動きを停止させると、シャトルはヘアピンとなってネットを伝って相手コートへリターンされます。その瞬間に手首（スナップ）を返すと、クロスネットのヘアピンとなってリターンされます。

ヒットしたあとラケットを停止させず、大きく打ち上げるようにフォロスルーするとシャトルは大きく高く打ちあがり、クリアとなって相手コート深くへの返球が可能となるわけです。

プッシュ等の返球により左側下方をおそわれた場合はどうしたらよいか。まずラケット（グリップ）を左肩口にひきつけるようにしながら上体を左によじる（左肩を後方にひくようにする）それにつれて右足が左足の左側へ踏み出される。

この時ちょうど右肩はネットと平行の状態である。それから上体をやや前傾させながら右肩を左後方へ引き入れる。そしてヒジを支点としてラケットを振りおろしはじめる。

肩、ヒジ、腕、グリップ、ラケットが真っ直ぐに伸びきった点（からだのやや前方）でシャトルをヒットし、それにつれて上体、腰が反転しはじめ、最後に右足がもとの位置（ホームポジション）に戻って、次のフライトに備える。

ヒットしたあとフォロースルーに至るラケット、腕、スナップ、ヒジの動きは、ヒットした時の状態のまま、すなわち伸ばしきったまま、シャトルを追いかけるように振り切られる。この場合サイドラインに沿って返球するときはスナップの返しは必要ないが、クロスして相手のバックコートに返そうとするなら、ヒットの瞬間、手首をぐっと反り返すようにしなければならない。

左後方スミを攻められた時はどうするか。この場合は左側下方を攻められた時とほぼ同じ。ただ、左足の左側に踏み出した右足のツマ先が、さらに自分のバックラインの方を向いてしまうくらいに深く踏み込みます。

こうすると必然的に上体および腰はネットに背を向けることになる。ただ顔は飛来するシャトルから目を離すわけにはいかないから右肩越しに後方（ネット方向）に向いているかたちとなる。そして左肩口にかかげたグリップ（ラケット）をヒジを支点に振りおろしはじめます。

ヒザは心もち深く曲げ、腰を落し、インパクト（ヒット）の瞬間、手首の返しを強烈に、しかも瞬発的に行う。この腰を落して打つ場合、特に気をつける点は、ヒザと腰のバネを利かせた反発力を応用する、ということです。

× × × ×

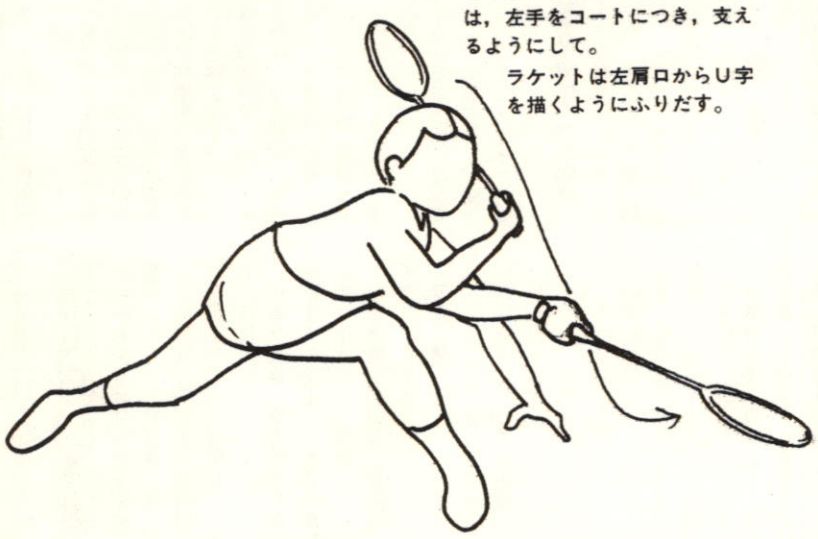
以上がバック・アンダーハンド・ストロークについての解説ですが、このストロークから返球されるフライトとを見て、気がつくことがありませんか。

そう、すべて逃げ、あるいは相手からの攻撃をかわすフライトであって、自分からの攻撃ではありませんね。要するに窮地からの脱出用であるということです。ですから、これらの返球には相当正確なコントロールと厳しさが要求されるわけで、一歩でも甘いコース、いい加減な高さとなると、もう完全な致命傷となってしまいます。

このように、バック・アンダーハンド・ストロークはかなり高度のテクニックを必要とするわけですから、初心者に紙面を通じての解説だけ熟得できるか疑問が残ります。

でも悲観することはありません。まずたくさん打ってシャトル独得の飛び方、ラケットの振り方すべて、自分のからだで体得することです。そしてあらゆる機会をとらえて一流選手のゲームやフォームをみて研究すること〝百聞は一見にしかず〟です。是非実行して下さい。（完）

図2



RECORD

◆第11回全日本教職員選手権大会（8月9日－12日・秋田市県立体育館）

世代の交代で若手の進出が目立った。団体戦も同様で若手の多いチームが強く、男子は石川、女子は秋田が初優勝。成年男子は岡山が4連勝2度目。

個人戦は30歳男子（鈴木＝秋田）が7度目、50歳男子（佐藤＝北海道）が3度目、同ダブルス（ペアとしては初、佐藤＝北海道＝は5度目）を除くと、すべて初優勝だった。

地元秋田は女子団体のほか女子複、30歳、40歳の各単、50歳複と五つのタイトルをとって面目をほどこした。

【一般男子団体】▽1回戦
鹿児島3－0福井

▽2回戦 滋賀3－0鹿児島
和歌山3－0茨城、東京3－2岐阜、岡山3－1岩手、石川3－0埼玉、栃木3－2秋田、神奈川3－0福岡、富山3－0大阪

▽準々決勝 滋賀3－0和歌山、東京3－1岡山、石川3－1栃木、神奈川3－1富山

▽準決勝 滋賀3－2東京、石川3－1神奈川

▽決　勝
石　川　3－0　滋　賀
○原　栄一（15－5）藤原健二
○長谷川進（15－9）藤上良信
○和田　修（15－8）久保田良昌
高来秀夫（15－12）藤上良英
○長谷川進（15－3）藤上良信

【一般女子団体】▽1回戦
福岡（キケン）岐阜A、秋田2－0滋賀A、埼玉2－0石川、神奈川（キケン）岐阜B、茨城2－0富山

▽準々決勝 福岡2－1東京、秋田2－0埼玉、千葉2－0神奈川、栃木2－1茨城

▽準決勝 秋田2－0福岡、千葉2－0栃木

▽決　勝
秋　田　2－0　千　葉
○米谷光子（15－9）時田栄子
○中田良子（15－4）池尻千恵子
○米谷光子（11－5、12－10）池尻千恵子

【成壮年団体】▽1回戦 秋田3－0石川B、東京A3－0滋賀、大阪2－1北海道、新潟3－0東京B、石川A3－0福岡

▽準々決勝 岡山2－1秋田、大阪2－1東京A、熊本2－0新潟、千葉3－0石川A

▽準決勝 岡山2－0大阪、熊本2－0千葉

▽決　勝
岡　山　2－0　熊　本
○小松　貴（15－5）南　直治
○藤井英雄（15－5）西田寿明
西崎正明（15－7）沢田昭臣
○山上周之（15－8）本郷節生

【男子シングルス】

▽準々決勝 関（東京）2－1藤原（滋賀）、森田（栃木）2－1森（和歌山）、門間（和歌山）2－1長谷川（石川）、河田（岐系）2－0藤上信（滋賀）

▽準決勝
森　田（15－9、15－9）関
門　間（15－7、15－6）河　田

▽決　勝
森田　昇（15－3、3－15、15－2）門間幹夫

【男子ダブルス】

▽準々決勝 河田・上原（岐阜）2－0中西・門間（和歌山）
佐々木・佐々木（岩手）2－0清水・正木（富山）、杉田・瀬戸（神奈川）2－0藤上信・藤原（滋賀）、別井・森田（栃木）2－1原・長谷川（石川）

▽準決勝
河　田（15－5、15－6）佐々木彦
上　原（15－6、15－5）佐々木邦
別　井（5－2）杉　田
森　田（棄権）瀬　戸

▽決　勝
河田　満（15－5）別井　晃
上原　章（15－6）森田　昇

【女子シングルス】

▽準々決勝 米谷（秋田）2－0谷沢（富山）、光中（埼玉）2－0池尻（千葉）、中田（秋田）2－0天野（岐阜）、小片（香川）2－0功刀（東京）

▽準決勝
米　谷（12－3、11－7）光　中
小　片（11－2、11－0）田　中

▽決　勝
小片千恵子（11－0、11－3）米谷光子

【女子ダブルス】

▽準決勝 米谷・中田（秋田）15－10、15－6池尻・時田（千葉）、永原・谷沢（富山）15－10、15－7鈴木・元橋（千葉）

▽決　勝
米谷　光子（6－15、15－6、15－4）永谷　敦子
中田　良子　谷沢三輪子

【混合ダブルス】

15－6、15－5鈴木・米谷（秋田）、関・功刀（東京）15－8、15－2藤上良・原田（滋賀）

▽決　勝
清水　芳隆（15－12）関　一誠
谷沢三輪子（15－9）功刀　淑江

【30歳以上男子シングルス】

▽準決勝 鈴木（秋田）2－0西田（熊本）、田中（千葉）2－1小松（岡山）

▽決　勝
鈴木　祐司（15－2、15－1）田中　康二

【同男子ダブルス】

▽準決勝 小松・藤井（岡山）2－1南・西田（熊本）、北野宝来（大阪）2－1鈴木・松橋（秋田）

▽決　勝
小松　貴（15－4、15－8）北野敬四郎
藤井　英雄　宝来　敏夫

【40歳以上男子シングルス】

▽準決勝 本郷（熊本）2－0亀山（石川）、脇坂（秋田）2－0山上（岡山）

▽決　勝
脇坂　安隆（15－4、15－9）本郷　節生

【同男子ダブルス】

▽準決勝 本郷・沢田（熊本）2－0宮脇・島津（大阪）、山上・西崎（岡山）2－0高橋・河辺（千葉）

▽決　勝
本郷　節生（15－9）山上　周之
沢田　昭臣（15－3）西崎　正明

【50歳以上男子】

シングルス準決勝 佐藤（北海道）2－0本間（新潟）

▽決　勝
佐藤　哲郎（15－0、15－1）臼杵　正巳（新潟）

▽ダブルス決勝
佐藤　精一　15－8
佐藤　哲郎　臼杵　正巳
（北海道、秋田）　本間　俊夫（新潟）
15－5

京都府

◆京都府総合個人選手権大会（11月12日・島津製作所体育館）

▽男子シングルス準々決勝
長崎（同大）2－0西村（京工大）、小倉（京工大）2－0田辺（立命大）、河野（立命大）2－0永井（堀場製作）、六津井（同大）2－0入江（YM）

▽準決勝
長崎 11－15 15－16 15－13 小倉
六津井 15－6 15－9 河野

▽決勝
六津井正一 18－14 15－3 長崎 久次

▽男子ダブルス準々決勝 小倉・山本（京工大）2－0永井・鈴鹿（堀場製作）、六津井・島田（同大）2－0大藪・柿谷（京商ク）、安藤・植田（京大）2－1福井・掛水（三菱自）、小島・入江（YMCA）2－1赤星・近（同大）

▽準決勝
六津井 15－10 小倉
島田 15－12 山本
小島 15－12 安藤
入江 15－13 植田

▽決勝
六津井正一 15－7 小島 伸治
島田 哲 15－8 15－1 入江 吉信

▽女子シングルス準決勝
松本 11－0 11－0 飯旺（川島織）
中原 11－1 11－3 小林（平安女短）（三菱自）

▽決勝
松本 直美 11－4 12－10 中原寿美子

▽女子ダブルス準決勝
椹木、山口 17－14 8－15 15－12 小林、飯田（三菱自）（桂ク）
中原、山本（平安女短） 18－16 15－6 松本、辻井（川島織、三和銀）

▽決勝
中原寿美子 15－9 椹木 祥美
山本 雅子 18－13 山口美江子

▽混合ダブルス決勝
小島、椹木 15－2 脇坂、山口（消防局、桂ク）（YM）

◆第2回京都府社会人個人選手権大会（10月29日・京都工芸繊維大体育館）

▽男子シングルス三位決定戦
柿谷（京商ク）キケン吉井（中川女）

▽決勝
脇坂（市消防局）2－1入江（YMCA）

▽男子ダブルス三位決定戦
中村・北川（立命大出）キケン吉田・森村（京商ク）

▽決勝
小島・入江（YMCA）2－1大藪・柿谷（京商ク）

▽女子シングルス三位決定戦
稲垣（北山ク）2－0西村（YMCA）

▽決勝
椹木（桂OG）2－0瀬尾（北山ク）

▽女子ダブルス三位決定戦
岩崎・西村（YMCA）2－0渡辺・藤井（YMCA）

▽決勝
瀬尾・稲垣（北山ク）2－0椹木・柴田（桂OG）

宮城県

◆47年度宮城県総合選手権大会（9月3日・仙台市レジャーセンター）

▽男子シングルス準々決勝
山並（千代田工業）2－0阿部（東北高）、井伊（自衛隊）2－0橋本（東北学院）、古川（学院榴岡高）2－0及川（仙台クリーニング）、岩淵（東北学院）2－0北山（自衛隊）

▽準決勝
山並 15－8 15－8 井伊
岩淵 15－9 15－1 古川

▽決勝
山並 11－15 17－15 15－7 岩淵

▽男子ダブルス準々決勝 山並・及川（千代田工業、仙台クリーニング）2－0千葉・門脇（佐賀高）、橋本・高橋（東北学院）2－0井伊・北山（自衛隊）、渡辺・牛渡（塩釜）2－0八巻・森（育英高）、安斎・岩淵（東北学院）2－0大倉・高橋（電工高）

▽準決勝
山並 15－6 橋本
及川 18－16 高橋
安斎 12－15 15－6 渡辺
岩淵 15－12 牛渡

▽決勝
安斎 15－8 山並
岩淵 15－13 及川

▽女子シングルス準決勝
鈴木 美（振興相互） 12－10 7－11 12－11 坂本（宮城学院）
高橋（高橋運動具） 11－3 11－5 荒井（東北学院）

▽決勝
高橋 11－7 11－3 鈴木 美

▽女子ダブルス準決勝
高野、高橋（長銀、高橋運動具店） 15－3 15－0 鈴木美、西堀（振興、郵便局）
伊藤、荒井（宮城学院） 15－6 15－12 石垣、鈴木（宮城クラ）

▽決勝
高野 15－6 伊藤
高橋 15－12 荒井

◆47年度仙台市民バドミントンまつり（9月10日・仙台市レジャーセンター）＝決勝のみ

▽親子の部 千葉組2－0佐藤組▽兄弟の部 新宮組2－1古川組▽混合の部 加藤・高野2－1田中・相沢▽ママの部 佐藤・佐沢2－0菊地・安達▽ママの部二部 奈良坂・滝原2－0長島・高橋▽姉妹の部 志田組2－0横田組▽百歳の部 佐藤・井上2－1会田・奈良坂

広島県

◆第13回サンケイ杯大会（12月17日・福山市体育館）

▽一般男子ダブルス準決勝
椹原・前田2－0村上・柏原、占部・山岡2－0田上・福谷

▽決勝 占部2－0椹原・前田

▽一般男子シングルス準決勝
占部2－0田上、多田2－0山岡▽決勝 多田2－1占部

▽壮年男子ダブルス決勝 新庄・大川2－0片岡・梅谷▽壮年男子シングルス決勝 新庄2－0大道▽一般女子ダブルス決勝 石原・小林2－0宮地・三森▽一般女子シングルス決勝 石原2－0宮地▽高校女子シングルス決勝 山口2－0川元

◆第17回東海実業団選手権ランキング▽男子－トヨタ自工②日本電装③新日鉄名古屋（以上愛知）④富士フィルム富士宮（静岡）⑤名鉄⑥三菱重工名古屋⑦名古屋市役所⑧豊田自動織機（以上愛知）▽女子①トヨタ自工②豊田自動織機（以上愛知）③本州製紙富士A④同B（以上静岡）⑤名鉄⑥日本電装A⑦新日鉄名古屋⑧日本電装B（以上愛知）



今月の言葉

――スポーツをしてきて、いま思うことはなんですか。

「社会への還元」

――今までの長いバレーボール生活を振り返ってみて、ひとこと

「性別、年齢、地位に関係なく、大勢の人と接することができ、その話し合いを通じて他人の手から、よいものを引き出せたから…」（生沼スミエ＝最近、日立武蔵バレーボール部を引退した全日本代表選手）

自分のお小遣いで、すべてまかなえるならともかく、どんなスポーツマンでも、知名のレベルに達するために、また、達した力を保持し、さらに向上するためには、大なり小なり、いろんな人のお世話にならなければならない。

家族、指導者、組織の役員や先生方、知人、友人、先輩、はてはファンやマスコミ。直接、間接にあなた方を取り巻く人々は数多い。それらの人々は、すべて、あなたの〝成長〟に関係している。

前記の一問一答では、二つのことが答えられているが、その根っこは同じ。お世話になったことをつねに忘れず、自分にできるかたちで、なんらかの〝恩返し〟をしたい、というのが前段の答えの意味。後段では、そうした、いろいろな人々と接することが、自分の人生にプラスして、ありがたいと思っているといっているのである。

報恩感謝の気持ち

犬猫でも三日いれば飼主を忘れない

いまどき、恩返し、だの、親孝行、だのははやらないのかもしれないが、犬猫でも三日いれば飼主を忘れない。他から強制され、義務感でやるのではなんの意味もない。ごく自然に素直な気持ちで、他人に感謝できる人でありたいものだ。

そのような人は、ものごとの吸収も早い。スポーツはスポーツであり、勝負をかけ、技をきそい、肉体能力の限界に挑戦する、単純素朴な行為である。それに、やたらと哲学的な意味をくっつけるのは間違いだ。

しかし、スポーツも生活の一部であり、長い時間の間には、精神の成長にプラスするものを数多く吸収するチャンスがある。いつも、どん欲に、なんでも見てやろう、知ってやろう、とってやろうという積極的な姿勢があるかないか。そこで将来は大きくちがってくる。

男子バレーの全日本は、アマ違反という思わぬ問題で足をすくわれた形だが、松平監督は選手に「人生の金メダルがとれる人間になれ」といっていた。いくら技術ばかりうまくとも、選手を一生続けるわけではない。終わればタダの人、あるいはそれ以下では、自分が不幸だ。

引き合いに出した生沼スミエさんは、メキシコ、ミュンヘン両五輪の日本代表。最近、選手生活から足を洗い、目下ママさんスポーツ育成のお手伝いにけんめいだ。バドミントンでも、有名、無名を問わず社会体育や後進の指導にけんめいな選手、指導者は数知れない。かくべつ世に知られなくとも、幸福な人生を送る人たちである。

編集室

○…本号の記事が全部出終わったあとで、予想したように、中国から連絡が来て、日中交流が実現することが本決まりとなった。一九七三年は、バドミントンにとって、これまでにない重要な躍進の年になりそうだ。中国はむかしから老人を大切にし〝幼老序あり〟と礼節を重んじる国。いまの日本は親より子が、教師より学生・生徒の方がえらいという、世にも珍らしい国だ。「今月の言葉」には、そんなことから、報恩感謝をテーマに選んでみた。

○…過去一年、大きな出来ごとが相次いだため、本誌の記事も押すな押すなで、毎号、先へのばすものが続出した。夏のうちに行なわれた教職員、実業団の全日本は、あいにく成績の入手が遅れたため、教職員の方の扱いは心ならずも小さくなり、実業団は次号回しとなった。おわびとともに、関係団体のご協力を切にお願いしたい。

〝総決算〟の全日本選手権を特集

〈次号予告〉

「編集室」でも触れたように今月も予定通り収容できぬものが多く、ついに前号で予告した男子バレー・アマ違反問題はあずかり。しかし、この問題はスポーツを考える上で重要なテーマなので、次号で必ず登場させる。そのほか、インカレの関連もの。学生界の力はそのままトップへ影響するため、重要な問題を持っており、こうした点からメスを入れた。

このほか、大きいものでは年末の全日本選手権。若い力の進出を期待しているのだが…。レコード欄、技術欄が今月号で縮少されたので、来月はそのようなことがないように自戒…。

【バドミントン界】第39号
昭和47年11月25日　印刷
昭和47年12月1日　発行
編集兼発行人　川　端　昇　市
発行所　東京都渋谷区神南一の一の一
岸記念体育館内
日本バドミントン協会
電話　四六七・三一一一（内線）二五一
四六七・七〇九五（直通）
郵便番号・一五〇
振替口座・東京三二一九三
印刷所　東京都豊島区南大塚二一二九
明宏印刷株式会社
定価　一部　百三十円

©無断転載を禁ず


SunBatta
SUNBATTA
SUNBATTA
KING
SUNBATTA
It's Excellent in the Court.
SUNBATTA KING, KING MATE
SunBatta
TOKYO
サンバタ
MOROE SEISAKUSHO CO.,LTD.
46-8, Sasazuka 2-Chome, Shibuya-ku, Tokyo, Japan
Phone : Tokyo (03)377—4401

月刊「バドミントン界」第39号
昭和四十七年十二月一日発行（毎月一回一日発行）
昭和四十四年十二月二十三日　第三種郵便物認可
発行所
東京都渋谷区神南一ノ一ノ一
岸記念体育会館内
日本バドミントン協会
定価百三十円

向かうところ敵なし!!

世界を相手に活躍するブルーリース。カワサキの技術が開発した、ロングシャフトで先軽のバランスがベストセラーの秘密です。世界中のトッププレイヤーに信頼される名実ともに最高級選手用ラケットです。カワサキが自信をもってお奨めするゆえんです。



K
kawasaki racket

最高級選手用
ブルーリース
No.B-69

河崎ラケット工業株式会社